

2025

試験日：R6.11.23

令和7年度
(2025年度)

学校推薦型選抜
学生募集要項



茨城大学
Ibaraki University

学校推薦型選抜について

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含む）への出願は、一つの大学・学部に限られます。複数の大学・学部への出願は認められません。

出願要件に定める学習成績の状況については、調査書に記載された数値〔評定の合計数を評定数で除し、小数点以下第2位を四捨五入〕とします。

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業等により、本学が出願要件として指定する「履修した（している）教科・科目」と名称は異なるが、それに相当する教科・科目を設定している場合は、その対応関係を調査書の備考欄に記載してください。なお、記載しきれない場合は、対応関係を記載した別紙を付けてください。

本学の学校推薦型選抜では、大学入学共通テストを課しません。

本学の各学部、学科・課程等が課す小論文、面接、プレゼンテーション及び実技検査等の結果を総合して評価します。

本学の各学部、学科・課程等が課す小論文、面接、プレゼンテーション及び実技検査等のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象とはなりません。

○学校推薦型選抜を実施する学部、学科・課程等

人文社会科学部……現代社会学科、法律経済学科、人間文化学科

教育学部……学校教育教員養成課程

教育実践科学コース

教科教育コース

言語・社会教育系（国語選修、社会選修、英語選修）

理数教育系（数学選修、理科選修）

音楽教育系（音楽選修）

美術教育系（美術選修）

保健体育教育系（保健体育選修）

技術教育系（技術選修）

生活科学教育系（家庭選修）

特別支援教育コース

養護教諭養成課程

理学部……理学科 数学・情報数理コース、物理学コース

工学部……機械システム工学科、電気電子システム工学科、物質科学工学科、情報工学科、都市システム工学科

農学部……食生命科学科

地域総合農学科 応用植物科学コース、地域共生コース

○出願期間 令和6年11月1日（金）～6日（水）

○試験期日 令和6年11月23日（土）

○合格者発表 令和6年12月6日（金）

○入学手続期間 令和6年12月16日（月）～19日（木）

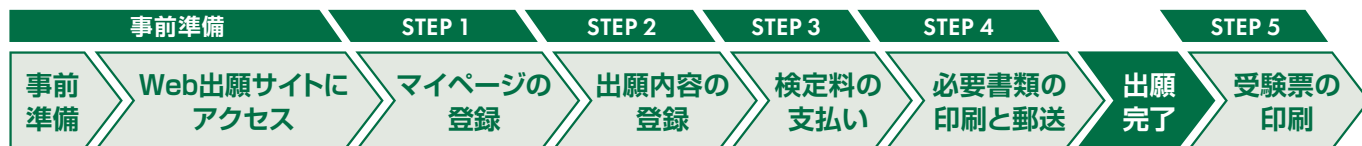
目 次

インターネット出願の流れ	1
茨城大学のアドミッション・ポリシー	5
各学部・学科等のアドミッション・ポリシー	5
1. 募集人員	1 6
2. 出願資格	1 7
3. 出願要件・選抜方法・配点等	1 7
4. 出願手続	4 1
5. 試験日程・試験場	5 0
6. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除	5 2
7. 障害等のある入学志願者の事前相談	5 3
8. 合格者発表	5 4
9. 入学手続等	5 4
10. 入学前学修	5 7
11. 情報提供	5 7
12. 個人情報の取扱い	5 8
13. 不正行為・迷惑行為	5 8
◎試験場等案内図	5 9
（資料1）推薦書記入要領	6 1
（資料2）志願理由書記入要領	6 8
（資料3）「運動特技に関する調書」記入要領、 「調査・研究活動に関する報告書」、「活動報告・資料」、 「ポートフォリオ、付属資料1点」「プレゼンテーション資料」 作成・提出要領	7 2
（資料4）面接(女子枠用)の「課題作文」作成・提出要領	8 0
入学者選抜に関する問い合わせ先	（裏表紙）

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・必要書類等の詳細については、必ず学生募集要項本文を確認して、不備のないように出願してください。



事前準備

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨。)
必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/ibaraki-n/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/>

からアクセス



STEP

1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報等を入力
して **次へ** を
クリックしてください。



⑧ 個人情報等を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



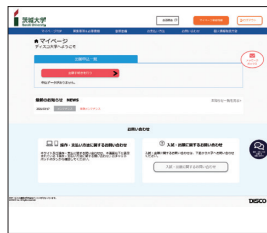
⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP 2

出願内容の登録

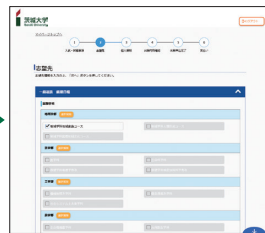
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②選抜区分と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



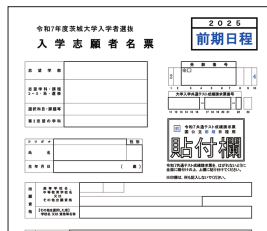
⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ページ対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ページ対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え**、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はページ対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

XXXXXXXXXXXX

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページ対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

XXXXXXXXXXXX

確認番号
メモ(6桁)

XXXXXX

収納機関番号
(5桁)

58021

※収納機関番号は、ページで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3



検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能

セブン-イレブン

Loppi

LAWSON

ミニストップ



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作し、お支払いください。

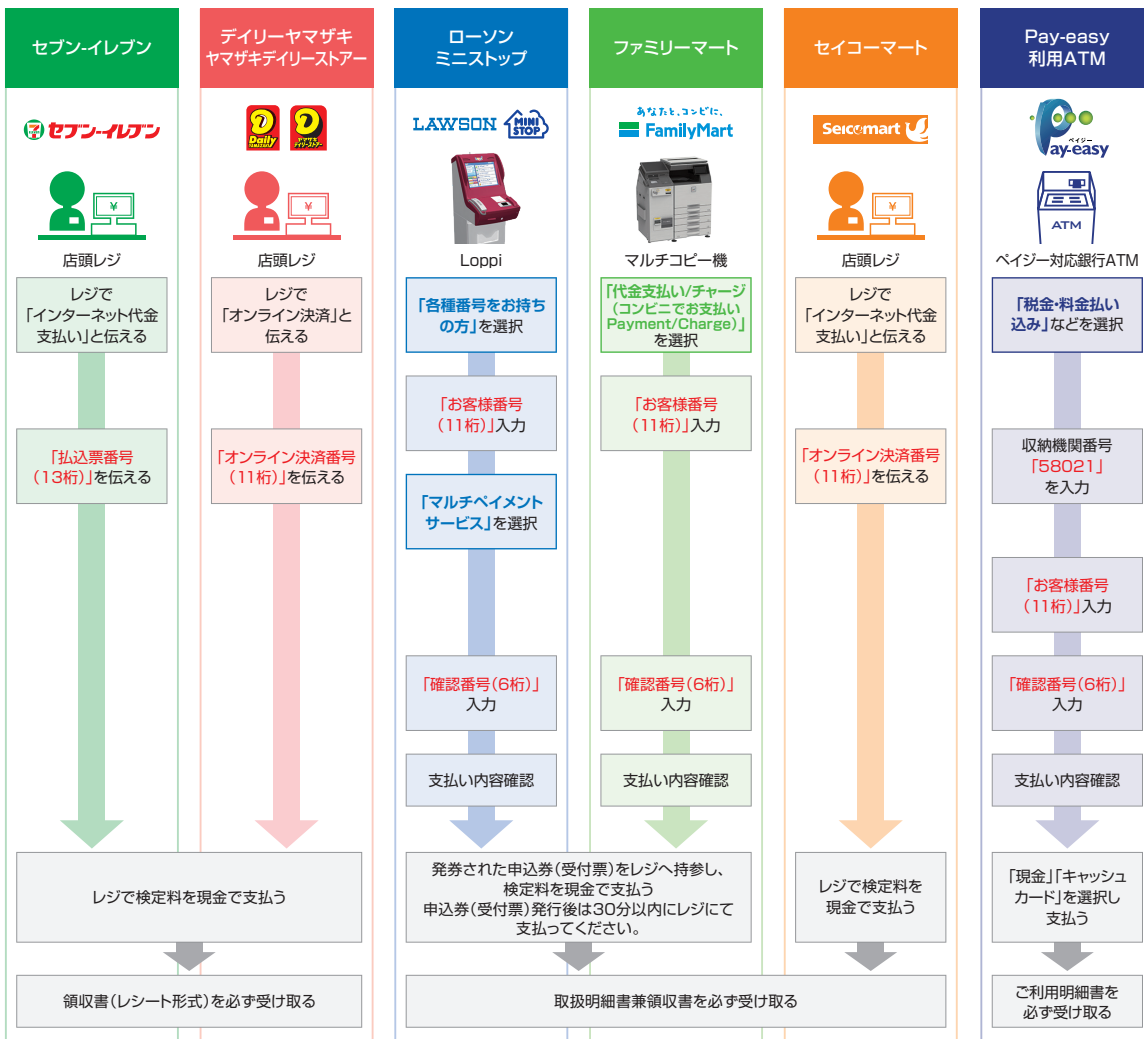


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



STEP

4

必要書類のカラー印刷と郵送

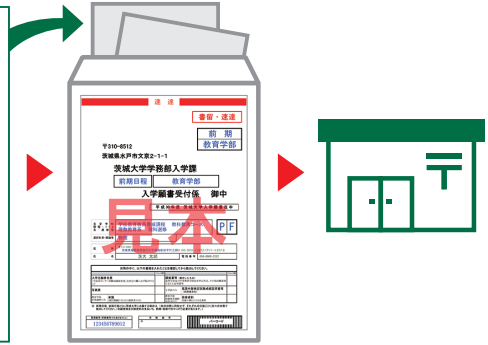
出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、その他の必要書類とあわせて、出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学校推薦型選抜学生募集要項のp.46～48を参照して準備してください。

<出願締切>

令和6年11月6日（水）必着

※ 持参の場合は同日16時30分まで



出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

出願書類提出用宛名シート
市販の角形2号封筒(240mm×332mm)
に貼り付けて作成

■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は各学生募集要項を参照してください。

※ いったん受理した検定料・必要書類は返却しません。

<出願完了>

出願時の 注意点

「インターネット出願」は、Web上の出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送（提出）することで出願完了となります。必要書類を郵送（提出）するまで出願は完了していませんので注意してください。

Web上での出願登録や検定料の支払は24時間可能（ただし、コンビニエンスストア、ATM、施設等の営業時間に準拠します。）ですが、登録締切時刻、支払締切時刻、書類必着締切時刻を募集要項本文でよく確認して、余裕を持った出願を心がけてください。

STEP

5

受験票の印刷

出願期間後に、Web出願サイトから受験票が印刷できるようになります。マイページからログインして、「受験票・受験者心得(PDF)の表示」ボタンから必ず各自で受験票を印刷し、試験当日に持参してください。

受験票は、令和6年11月11日（月）以降、印刷可能になります。

受験票は本学から郵送されませんので、必ず各自で印刷してください。

※ パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が一致していることを必ず確認してください。

茨城大学のアドミッション・ポリシー

茨城大学では、以下の4つの能力と資質を有する多様な志願者を求めています。能力と資質の詳細は、学部・学科等（課程・コース等）毎に異なっており、志願者に対して、それぞれ適切な方法で選抜を行い入学者を決定します。

◆茨城大学のアドミッション・ポリシー◆

1. **（知識・技能）** 大学における専門分野の学修に必要な基礎学力を有していること
2. **（知的関心）** 自分の身近な事柄だけでなく、地域の事象、自然環境、国際社会、人間と多様な文化等の広い分野に対する知的関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において他者と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

◆各学部・学科等のアドミッション・ポリシー◆

人文社会科学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

人文社会科学部では、文系総合学部としての特徴を生かし、主専攻であるメジャーと副専攻であるサブメジャーの複合による学修を通じて、人間の文化と社会活動に関する専門性を持ちながら、世界のさまざまな「地域」で生き生きと働き、活躍できる人材を育成します。

したがって、人文社会科学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 人文社会科学部における専門分野の学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）**
 - ア) 現代における地域・国際社会とメディア、法律と経済、人間と多様な文化などの広い分野についての知的関心
 - イ) 大学での学びを通じてこれらを探究し、自らを高め、成長したいという積極的な意欲
3. **（思考力・判断力・表現力）**
 - ア) さまざまな課題を他者ととともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力
 - イ) さまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

人文社会科学部 現代社会学科

学科として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）

現代社会学科には「メディア文化メジャー」「国際・地域共創メジャー」があります。そこでは、現代のさまざまなメディアの特質についての学びを通じて表現力・発信力を鍛えるほか、社会学、地理学、政治学、国際学などのアプローチによる国内外の地域課題の調査から、解決策を提案する力を養います。

それにより、多様な人々との対話と協働をとおして現代社会におけるさまざまな課題を見だし、地域活性化や文化の創造に携わっていけるような人材を育成します。

したがって、現代社会学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 現代社会学科における専門分野の学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）**
 - ア) 現代社会におけるメディア、地域または国際社会についての広い知的関心
 - イ) 現代社会における諸問題を、社会学、地理学、政治学、国際学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲
3. **（思考力・判断力・表現力）**
 - ア) 現代社会におけるさまざまな課題を他者ととともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力
 - イ) 現代社会におけるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

入学者選抜において評価する能力・成果	1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 現代社会におけるメディア、地域及び国際社会に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、主体性をもってさまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書（資格・検定試験含む） 主に1) を評価します。 イ) 小論文（英語課題文） 主に2)、3) 及び4) を評価します。 ウ) 面接 主に3)、4) 及び5) を評価します。

人文社会科学部 法律経済学科	
学科として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	<p>法律経済学科には「法学メジャー」「経済学・経営学メジャー」があります。ここでは、法学、経済学、経営学を中心に関連する学問分野を総合的に学び、生活者や企業の抱えるさまざまな問題に法的アプローチによって対応したり、市場の役割・企業活動の意義を認識し経済政策やマネジメントを構想したりすることにより、地域の持続的発展に貢献できる理論的・実践的な課題解決能力を持つ人材を育成します。</p> <p>したがって、法律経済学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.（知識・技能） 法律経済学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2.（知的関心） ア) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割についての広い知的関心 イ) 社会における諸問題を、法学、行政学、経済学、経営学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3.（思考力・判断力・表現力） ア) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4.（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度） 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力 2) 文献・資料読解のための英語に関する基礎学力 3) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、主体性をもってさまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書（資格・検定試験含む） 主に1) を評価します。 イ) 小論文（英語課題文） 主に2)、3) 及び4) を評価します。 ウ) 面接 主に3)、4) 及び5) を評価します。

人文社会科学部 人間文化学科	
学科として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	<p>人間文化学科には「文芸・思想メジャー」「歴史・考古学メジャー」「心理・人間科学メジャー」があります。ここでは、人文諸科学の幅広い学びを基礎とし、心やことばの問題をとおして人間の本質を探究するとともに、日本および世界の諸地域の歴史や文化についての理解を深めることにより、人間とその文化の深層を見抜き、よりよい人生、よりよい社会の構想を提案できる力を身に付けた人材を育成します。</p> <p>したがって、人間文化学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.（知識・技能） 人間文化学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2.（知的関心） ア) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化についての広い知的関心 イ) 人間文化の諸問題を、文学、哲学、言語学、史学、考古学、心理学、文化人類学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3.（思考力・判断力・表現力） ア) 人間文化に関わるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4.（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度） 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

入学者選抜において評価する能力・成果	1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、主体性をもってさまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書（資格・検定試験含む） 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に3) 及び4) を評価します。 ウ) 面接 主に3) 、4) 及び5) を評価します。

教育学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

教育学部では、実践的指導力のある教員を養成することをめざしています。私たちを取りまく世界は目まぐるしく変化しています。このような現代の社会にあって、教員に求められていることは、人間・社会・自然についての知的探求心を基礎にした確かな教育的実践力です。教育学部では、十分な専門的知識と子どもの成長や発達に対応した教育的方法を身に付け、さらに教育に関わる幅広い視野をもった、人としての魅力と実力のある教員を養成します。

したがって、教育学部においては、全学のアドミッション・ポリシーで示される4つの能力ないし資質に加え、以下の能力・資質を入学者に求めます。

1. 教員になるための学修に必要な、各教科についての幅広い知識
2. 教育への関心と教員になりたいという強い意欲

さらに、学校教育教員養成課程の各コースでは、学部全体で求める能力・資質に加え、それぞれ以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・（教育実践科学コース）学校や子どもを巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（教科教育コース）各選修の教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（特別支援教育コース）障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

また、養護教諭養成課程では、学部全体で求める能力・資質に加え、以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・健康や病気についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

教育学部 学校教育教員養成課程 教育実践科学コース	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 学校や子どもを巡る問題の探究に必要な思考力・判断力・表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) プレゼンテーション 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 国語選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 国語の内容を深め、活用していくための思考力、判断力、言語表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に2) 及び3) を評価します。 ウ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 社会選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 社会科・地理歴史科・公民科の内容についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に3) を評価します。 ウ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 英語と日本語で他者とコミュニケーションする能力と基礎的な英語力 4) 異文化を積極的に理解し学ぼうとする意欲
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 理数教育系 数学選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 数学の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 理数教育系 理科選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 理科及び周辺教科の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育系 音楽選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 音楽やその指導・教育を巡る問題についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 音楽実技の能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 実技検査 主に5) を評価します。 ウ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育系 美術選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 美術及び美術教育を巡る問題についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 美術実技の能力あるいは活動実績
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に2)、3) 及び4) を評価します。 ウ) ポートフォリオ・付属資料 主に3) 及び5) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 保健体育教育系 保健体育選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 保健体育についての関心と、保健体育に関する知識・技能を深めていくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力 5) 体育実技の能力あるいは活動（競技又は指導等）の実績
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に2)、3) 及び4) を評価します。 ウ) 運動特技に関する調書 主に5) のうち「特定の運動種目における実技能力」を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 技術教育系 技術選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 技術科教育についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に1) のうち数学、理科、外国語（英語）の基礎学力並びに2)、3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に1) のうち数学、理科、外国語（英語）の基礎学力並びに2)、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 生活科学教育系 家庭選修	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 生活科学や家庭科の内容についての関心と、それを探究していくための思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) プレゼンテーション 主に2)、3) 及び4) を評価します。

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して活動するためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) プレゼンテーション 主に2)、3) 及び4) を評価します。

教育学部 養護教諭養成課程	
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 養護教諭になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、子どもの発育・発達や健康への関心と養護教諭になりたいという強い意欲 3) 子どもの健康や病気についての基本的な知識とその向上に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して問題解決に取り組むためのコミュニケーション能力
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

理学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

理学部は、自然科学に関する真理、原理、理論を論理的、かつ、合理的に理解することを目指す学部です。本学部は、1学科6コース制を導入しており、理学科の中に数学・情報数理、物理学、化学、生物科学、地球環境科学、総合理学の6コースがあります。理学部では、各専門分野の学修を通して得られる高い専門知識だけでなく、幅広い知識と能力を身に付けるとともに、柔軟な思考力及び問題解決能力を有する「理学スペシャリスト」として、社会が直面する諸課題に積極的に取り組み、広く社会の発展に貢献することができる人材の育成を目指しています。

したがって理学部入学者には、以下の能力を求めます。

1. **（知識・技能）** 数学、理科の基礎知識及び論理的思考力を身に付けていること
国語、外国語、地理歴史又は公民、情報の基礎的な知識も有し、論理的文章を作成できること
2. **（知的関心）** 自然及び社会に起きている出来事に対する幅広い関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、課題解決をめざして思考力・判断力・表現力を用いた経験がある、あるいはそのような経験をしたいという意欲を有していること
4. **（主体性）** 自然科学の分野において探究活動を行う意欲と主体性を有していること

理学部 理学科 数学・情報数理コース	
コースとして入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	理学科数学・情報数理コースでは、数学を基礎として論理的思考力を養うとともに情報科学の手法も学び、真の分析能力・問題解決能力を持つ人材の育成を目指しています。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、特に数学Ⅲ及び数学Cまでの内容をしっかり学んでいることを求めます。表面的な解法パターンを覚えるのではなく、なぜそうなるかを粘り強く考え、その上で他の人に数式を用いて説明できる力を養うことが大切です。このような努力を積むことで数学自体の理解が自然に深まると考えています。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 数学Ⅲ及び数学Cまでの内容の理解度と数式を用いて説明する能力 3) 数学・情報数理に対する関心の深さ、思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、数学や理科に関する課題研究などの経験
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に2) 及び3) を評価します。 ウ) 面接 主に3) 及び4) を評価します。

理学部 理学科 物理学コース	
コースとして入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	物理学は、物質の性質をはじめ、物質のミクロな根源である素粒子からマクロな宇宙まで、幅広い対象を扱います。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、これらを深く学ぶ際の原動力となる、自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力を、様々な教科を通じて育てていることを求めます。また、物理学は、物理現象の定式化とその検証による精密化を通じて発展してきた積み上げ型の学問です。その修得には、目の前の困難に向き合ってねばり強く取り組む姿勢が必要です。

入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 物理学の基本的知識、基礎的素養及び数学的思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験
評価方法	【学校推薦型選抜】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

工学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

工学部では、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として絶えず前進しながら、工学系専門技術者として、人々と協働して課題解決をめざし、社会の持続的な発展に貢献し、地域の活性化に自ら進んで取り組む、高度科学技術を実践する人材を育成しています。

したがって、工学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 工学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）** 工学及びその周辺分野における地域から地球に至るまでの様々な規模での社会の課題に対する幅広い知的関心
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、工学について他者と共に課題解決をめざした経験及びそのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいはそれらを身に付けたいという意欲
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、工学に関して多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験、あるいはそのような活動をしたという意欲

上記でいう工学には、数学・理科・情報などの工学の基礎も含まれます。

工学部 機械システム工学科	
学科として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	<p>機械システム工学は従来の機械工学と情報工学の高度な融合により、自動車・鉄道などの交通機械や火力・風力・水力・原子力発電システムなどの社会インフラを支えるエネルギー機械、人工知能・ロボット・医療機器・介護機器などの人の活動を支援する機械、これらの機械を作り出すための材料加工や設計・製造システムなど、わたしたちの生活に役立つ最先端の機械システム技術を創造する学問です。機械システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での機械システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って機械システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 機械システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接（一般枠・女子枠） 主に2) 、3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

工学部 電気電子システム工学科	
学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー)	<p>電気電子システム工学は、目に見えない電子や電磁波を高度にコントロールして、電子デバイスや電気機器の開発・設計、電力や情報の創生・伝送・蓄積・制御などに応用する学問分野です。電気電子システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での電気電子システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って電気電子システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 電気電子システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	<p>【学校推薦型選抜（一般）】</p> <p>ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接（一般枠・女子枠） 主に2) 、3) 及び4) を評価します。</p> <p>【学校推薦型選抜（専門高校）】</p> <p>ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。</p>

工学部 物質科学工学科	
学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー)	<p>物質科学工学科では、金属、有機・無機物質、セラミックス、半導体、高分子、医薬、農薬、生体物質、生体材料、医用材料など多岐にわたる物質の構造と機能を原子・分子レベルで理解することで、新しい物質や材料の設計・製造およびハイブリッド化への応用を可能にし、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での物質科学工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って物質科学工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 物質科学工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	<p>【学校推薦型選抜（一般）】</p> <p>ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。</p> <p>【学校推薦型選抜（専門高校）】</p> <p>ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。</p>

工学部 情報工学科	
学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー)	<p>コンピュータとインターネットは流通・金融・製造など社会のさまざまな分野で必要不可欠であり、これらを合理的に扱うためにソフトウェアが必要です。情報工学は、情報の発生・伝達・収集・蓄積・処理を扱い、情報を体系的に管理する総合的な学問です。情報工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での情報工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って情報工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>

入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 情報工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接（一般枠・女子枠） 主に2) 、3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

工学部 都市システム工学科	
学科として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	<p>理想の都市は「安全」「環境」に優しく「快適」な空間であることが望まれます。都市システム工学科では、この「安全」「環境」「快適」の3要素をシステムとして扱うため、土木工学、環境工学、建築学および都市計画学などを学修します。そして、地域から世界まで幅広い分野で活躍できる技術者の育成を目指した教育を行います。</p> <p>したがって、大学での都市システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って都市システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 都市システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア) 調査書 主に1) を評価します。 イ) 小論文 主に1) 及び3) を評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1) 及び3) を評価します。 エ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。

農学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

農学部では、グローバル社会における農業・食料問題を理解して、国際的な視点から食料・食品の高度化、農業を核とした新産業の創出に主体的かつ意欲的に取り組み、地域の農業と地域コミュニティの活性化を支える実務型農学系人材を育成します。

したがって、農学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 農学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）** 農学及びその周辺分野のみならず、社会の課題全般に対する幅広い知的関心
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、農業、環境、食料の課題について他者と共に課題解決を目指した経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、農業体験やボランティア活動などに参加し、世代や国籍を超えた多様な人々と協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

農学部 食生命科学科	
学科として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	食生命科学科では、生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識や技能を修得し、食料・食品分野で国際的に活躍できる人材を育成します。 したがって、食品科学と生命機能を学ぶ基礎学力を持ち、農業、環境、食料についての課題を理解し、主体性を持って解決へ導く意欲を持つ学生を求めます。国内外の多様な人々と協働しながらグローバルな視点で課題を探究する場もありますので、自分の考え方を整理して伝える力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物・化学、英語における十分な学力 3) 安全な食の実現と生命機能の解明に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題と向き合う協働体験や意欲 6) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア) 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ) 面接 主に3)から6)までを評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア) 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ) 面接 主に3)から6)までを評価します。

農学部 地域総合農学科 応用植物科学コース	
コースとして入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）	地域総合農学科応用植物科学コースでは、農作物の栽培や品種改良、病気や害虫の防除に関する知識や技能を主に修得し、農産物の国際競争力の強化や高品質・高付加価値生産などに対応した、新しい時代の植物生産技術の発展に貢献する人材を育成します。 したがって、生物学を中心とした幅広い基礎学力を持ち、地域の発展や農業の国際化に、主体的に取り組む意欲を持った学生を求めています。世代や国境を超え人々と議論しながらの実践的な学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。
入学者選抜において評価する能力・成果	1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物又は化学、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する新しい時代の農業技術に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲 6) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	【学校推薦型選抜（一般）】 ア) 小論文 主に1)の一部、化学、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ) 面接 主に3)から6)までを評価します。 【学校推薦型選抜（専門高校）】 ア) 小論文 主に1)の一部、化学、英語を除く2)及び4)を評価します。 イ) 面接 主に3)から6)までを評価します。 ウ) 英語資格・検定試験 主に1)の一部及び生物、化学を除く2)を評価します。

農学部 地域総合農学科 地域共生コース	
コースとして 入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー)	<p>地域総合農学科地域共生コースでは、美しい農村の景観をまもり、地域・農産物のブランド力を高め、災害に強い地域をデザインする技術や政策に関する知識・技能を修得し、豊かな地域の未来を創造できる人材を育成します。</p> <p>したがって、理系科目、文系科目を問わない幅広い基礎学力・興味を持ち、未来に向けた地域づくりと、世界に羽ばたく農業の実現に意欲を持つグローバル志向の学生を求めます。世代や国境を超えた人々と議論や協働をおこなう学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。</p>
入学者選抜において評価する能力・成果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な物理又は化学又は生物、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する技術や政策に対する幅広い関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲 6) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲
評価方法	<p>【学校推薦型選抜（一般）】</p> <p>ア) 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に3)から6)までを評価します。</p> <p>【学校推薦型選抜（専門高校）】</p> <p>ア) 小論文 主に1)の一部、英語を除く2)及び4)を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に3)から6)までを評価します。</p> <p>ウ) 英語資格・検定試験 主に1)の一部及び物理、化学、生物を除く2)を評価します。</p>

1. 募集人員

(単位：人)

学 部	学 科 ・ 課 程 等		募 集 人 員			
			一 般 推 薦		専 門 高 校 推 薦	
			一 般 枠	女 子 枠		
人文社会科学部	現代社会学科		30	—	—	
	法律経済学科		25	—	—	
	人間文化学科		25	—	—	
	計		80	—	—	
教育学部	学校教育教員養成課程	教育実践科学コース		8	—	—
		言語・社会教育系	国語選修	4	—	—
			社会選修	5	—	—
			英語選修	5	—	—
		理数教育系	数学選修	4	—	—
			理科選修	3	—	—
		音楽教育系	音楽選修	3	—	—
		美術教育系	美術選修	4	—	—
		保健体育教育系	保健体育選修	5	—	—
		技術教育系	技術選修	3	—	若干名
	生活科学教育系	家庭選修	4	—	—	
	特別支援教育コース		3	—	—	
	小計		51	—	—	
養護教諭養成課程		8	—	—		
計		59	—	若干名		
理学部	理学科	数学・情報数理コース		6	—	—
		物理学コース		6	—	—
		計		12	—	—
工学部	機械システム工学科		14	6	若干名	
	電気電子システム工学科		8	4	若干名	
	物質科学工学科		15	—	若干名	
	情報工学科		10	5	若干名	
	都市システム工学科		8	—	若干名	
	計		55	15	若干名	
農学部	食生命科学科		16	—	若干名	
	地域総合農学科	応用植物科学コース	10	—	1	
		地域共生コース	7	—	若干名	
	計		33	—	1	
合計			239	15	1	

(備考) 学校推薦型選抜において入学手続き者が募集人員(若干名は除く)に満たなかった場合は、一般選抜前期日程の合格者で補充します。

2. 出願資格

(1) 一般推薦

次の各号のいずれかに該当する者で、合格した場合に必ず入学することを確約できる者とします。

- ①高等学校（中等教育学校を含む）を令和7年3月卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を令和7年3月修了見込みの者
- ③文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を、令和6年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

※ただし、人文社会科学部、工学部及び農学部の全学科においては、以下の者を含みます。

- ①、②にあっては令和6年3月以降に卒業又は修了した者
- ③にあっては令和5年4月から令和6年3月までに修了した者

(2) 専門高校推薦

専門高校推薦の出願資格については、p.34～p.40（2）専門高校推薦の①出願要件に示します。

3. 出願要件・選抜方法・配点等

入学者の選抜は、**大学入学共通テストを課さず**、次のとおり行います。

本学の各学部、学科・課程等が課す小論文、面接、プレゼンテーション及び実技検査等の結果を総合して評価します。

なお、**本学の各学部、学科・課程等が課す小論文、面接、プレゼンテーション及び実技検査等のうち一つでも受験しなかった者は、合否判定の対象とはなりません。**

(1) 一般推薦

1) 人文社会科学部

①出願要件

学部	学科	出願要件
人文社会科学部	現代社会学科	<p>学力、人物ともに優れ、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、現代社会学科の教育研究分野を真摯に学習する意欲があり、出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※校長が推薦できる人数に制限はありません。 ※英語資格・検定試験及びその他の資格・検定試験（p.19参照）は出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。</p>
	法律経済学科	<p>学力、人物ともに優れ、調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、法律経済学科の教育研究分野を真摯に学習する意欲があり、出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※校長が推薦できる人数に制限はありません。 ※英語資格・検定試験及びその他の資格・検定試験（p.19参照）は出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。</p>
	人間文化学科	<p>学力、人物ともに優れ、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、人間文化学科の教育研究分野を真摯に学習する意欲があり、出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※校長が推薦できる人数は、1校につき3人までとします。 ※英語資格・検定試験（p.19参照）は出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。</p>

②選抜方法

学部	学科	選抜方法等
人文社会科学部	現代社会学科	<p>調査書、資格・検定試験、小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈調査書及び資格・検定試験〉調査書は調査書全体の内容を評価します。資格・検定試験は、調査書の配点の一部として評価します。評価する資格・検定試験の詳細は、p.19の別表を参照してください。</p> <p>〈小論文〉(※1) 現代社会学科で学ぶために必要な基礎的能力(読解力、表記能力、論理的思考力、表現力など)をみるために、ひろく社会科学に関連するまとまった内容をもつ英文を示し、それについてのいくつかの日本語による設問に日本語で解答させます。解答は合計600字から800字程度です。</p> <p>〈面接〉個人面接とし、1人あたり10～15分間程度を予定しています。調査書・志願理由書をもとに、高等学校等での授業外の活動経験(※2)、志望動機、現代社会学科の教育研究分野への学習意欲・適性等をみます。さらに、これらに関する表現力もみます。</p>
	法律経済学科	<p>調査書、資格・検定試験、小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈調査書及び資格・検定試験〉調査書は調査書全体の内容を評価します。資格・検定試験は、調査書の配点の一部として評価します。評価する資格・検定試験の詳細は、p.19の別表を参照してください。</p> <p>〈小論文〉(※1) 法律経済学科で学ぶために必要な基礎的能力(読解力、表記能力、論理的思考力、表現力など)をみるために、ひろく社会科学に関連するまとまった内容をもつ英文を示し、それについてのいくつかの日本語による設問に日本語で解答させます。解答は合計600字から800字程度です。</p> <p>〈面接〉個人面接とし、1人あたり10～15分間程度を予定しています。調査書・志願理由書をもとに、高等学校等での授業外の活動経験(※2)、志望動機、法律経済学科の教育研究分野への学習意欲・適性等をみます。さらに、これらに関する表現力もみます。</p>
	人間文化学科	<p>調査書、資格・検定試験、小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈調査書及び資格・検定試験〉調査書は調査書全体の内容を評価します。資格・検定試験は、調査書の配点の一部として評価します。評価する資格・検定試験の詳細は、p.19の別表を参照してください。</p> <p>〈小論文〉人間文化学科で学ぶために必要な基礎的能力(読解力、表記能力、論理的思考力、表現力など)をみるために、ひろく人文科学に関連するまとまった内容をもつ文章等を示し、それについてのいくつかの設問に解答させます。解答は合計600字程度です。</p> <p>〈面接〉個人面接とし、1人あたり10～15分間程度を予定しています。調査書・志願理由書をもとに、高等学校等での授業外の活動経験(※2)、志望動機、人間文化学科の教育研究分野への学習意欲・適性等をみます。さらに、これらに関する表現力もみます。</p>

(※1) 人文社会科学部現代社会学科及び法律経済学科で課す「小論文」は、両学科で共通の試験問題です。

(※2) 「授業外の活動経験」には、生徒会役員等としての活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等、取得資格・検定等、表彰・顕彰等、その他の記録が該当します。

③配点

学部	学科	調査書	推薦書	志願理由書	資格・検定試験等	面接	小論文	合計
人文社会科学部	現代社会学科	10 (*1)	(*2)	(*3)	(*4)、(*5)	30	60	100
	法律経済学科	20 (*1)	(*2)	(*3)	(*4)、(*5)	20	60	100
	人間文化学科	20 (*1)	(*2)	(*3)	(*4)、(*5)	20	60	100

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は出願要件等の確認のために提出を求めるものを表します。

(*3) は面接の参考資料として利用することを表します。

(*4) は面接の参考資料としても利用することを表します。出願要件ではありませんので、それらの成績を取得していなくても出願することができます。

(*5) は調査書の配点に含みます。

<別表>

○人文社会科学部 各学科で評価する資格・検定試験の内訳

評価する資格・検定試験の成績は、高等学校等入学以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時に、スコア証明書等の写しの提出を求めます。なお、ここに記載する資格・検定試験で選択した資格・検定試験の種類によって評価が変わることはありません。

学科	英語資格・検定試験	その他の資格・検定試験	摘要
現代社会学科	○	○	「英語資格・検定試験」、「その他の資格・検定試験」から、それぞれ1つを評価します。
法律経済学科	○		「英語資格・検定試験」又は「その他の資格・検定試験」から、1つを評価します。
人間文化学科	○	×	「英語資格・検定試験」から1つを評価します。

評価する資格・検定試験の成績は以下のとおりです。

[英語資格・検定試験]

<全学科共通>

CEFR	ケンブリッジ英語検定(※1)	実用英語技能検定(※2)	GTEC(※3)	IELTS(※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT(※5)	TOEIC L&R / TOEIC S&W(※6) (※7)
B1以上	140以上	1,950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1,150以上

(※1) ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル(4技能CBT)」の受験成績は利用できません。

(※2) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」(本会場実施、準会場実施)に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。

(※3) GTEC(Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ)の成績は、**オフィシャルスコアのみを認めます(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る)**。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。

(※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。

(※5) TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。

(※6) TOEIC(L&R/S&W)は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。

(※7) TOEIC L&R(990点満点)/TOEIC S&W(400点満点)については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。

[その他の資格・検定試験]

<現代社会学科>

- ・日本漢字能力検定試験(CBTを含む) 2級以上
- ・実用数学技能検定試験 準1級以上
- ・統計検定試験 3級以上(CBTを含む)、統計調査士、専門統計調査士のいずれか
- ・基本情報技術者試験
- ・ITパスポート試験
- ・国際バカロレア資格(ディプロマ・プログラム)

<法律経済学科>

- ・日商簿記検定試験 2級以上
- ・全商簿記実務検定試験 1級
- ・基本情報技術者試験
- ・ITパスポート試験
- ・全商情報処理検定試験 1級

2) 教育学部

①出願要件

学部	課程・コース等	出願要件	
教育学部	<p>次の各課程・コース又は選修の固有の要件をすべて満たし、学業成績が優秀と認められ、かつ、教職を目指す意欲があり、出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>※校長が推薦できる人数は、以下に示す全ての課程・コース又は選修において制限はありません。</p>		
	教育実践科学コース	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上	
	言語・社会教育系	国語選修	①調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ②調査書の国語の学習成績の状況が4.0以上
		社会選修	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上
		英語選修	①調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ②調査書の英語の学習成績の状況が4.0以上 ③次ページの別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのB1以上）を満たす者
	理数教育系	数学選修	①調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上 ②調査書の数学の学習成績の状況が4.5以上
		理科選修	①調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ②調査書の理科及び数学の各教科の学習成績の状況がともに4.0以上
	音楽教育系	音楽選修	①調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ②音楽の分野において優秀と認められる者
	美術教育系	美術選修	①調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ②美術の分野において優秀と認められる者
	保健体育教育系	保健体育選修	①調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上 ②保健体育の分野において優秀と認められ、かつ、運動実技で全国大会に出場又はそれに準ずる成績を有する者（※1）
	技術教育系	技術選修	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上
生活科学教育系	家庭選修	調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上	
特別支援教育コース	調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上		
養護教諭養成課程	調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上		

(※1) 学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育教育系保健体育選修の出願要件でいう「全国大会」とは、インターハイや国体等、各競技団体等主催の全国大会を指しますが、全国規模での選抜チーム代表としての試合出場も対象とします。また、「準ずる成績」とは、ブロック大会（関東大会、東北大会など）やブロック又は県選抜チーム代表としての出場成績も含まれます。出願書類と併せて特技とする運動種目の成績・記録を証明できる資料等を必要とします。なお、ここでの運動特技は志願者本人のプレーヤーとしての競技実績を指し、マネージャーやアシスタントコーチといったサポートスタッフ等としての貢献は運動特技に含みません。令和7年度入学者選抜では、新型コロナウイルス感染症の発生により中止・延期等となった大会等に参加できなかった場合においても、競技活動に対する努力のプロセス等から、上記の出場成績等を有する者に相当すると校長が判断できる者については、出願要件を満たすものとします。

<別表>

○教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修の出願要件

英語資格・検定試験の成績は、高等学校等入学以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時に、スコア証明書等の写しの提出を求めます。

CEFR	ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6) (※7)
B1以上	140以上	1,950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1,150以上

(※1) ケンブリッジ英語検定では、「**リングスキル（4技能CBT）**」の受験成績は利用できません。

(※2) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施、準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。

(※3) GTEC（Core／Basic／Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、**オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）**。「**アセスメント版**」での受験成績は利用できません。

(※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。

(※5) TOEFL iBTにおいて、「**My Best スコア**」は利用できません。

(※6) TOEIC（L&R/S&W）は、「**公開テスト**」を受験した成績に限ります。

(※7) TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。

②選抜方法

学部	課程・コース等		選抜方法等	
教育学部 学校教育教員養成課程	教育実践科学コース		調査書及びプレゼンテーションの結果を総合して評価します。 〈 プレゼンテーション 〉 高等学校等までの学習で理解できる現代の教育問題について、「プレゼンテーション資料」に基づいてプレゼンテーション（8分程度）を行い、その内容について質疑応答をします。質疑応答を含めた試験時間は15分程度とします。本コースで学ぶために必要な能力（分析力、判断力、論理構成力、表現力等）をみることを主眼とします。 「プレゼンテーション資料」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておき、試験当日に持参（※1）してください。なお、試験当日は黒板等に板書しても構いませんが、電子機器類の使用は認めません。 （「 プレゼンテーション資料 」の詳細はp.77に示します）	
	言語・社会 教育系	国語選修		調査書、小論文及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈 小論文 〉 本選修で学ぶのに必要な能力（論理構成力、表現力等）をみることを主眼とします。課題を与えて論述させます。字数は800字程度です。 〈 面接 〉 個人面接（約10分）。志望動機、教育・国語教育に対する関心、学習意欲、学習状況、表現力などをみることを主眼とします。
		社会選修		調査書、小論文及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈 小論文 〉 社会選修で学ぶのに必要な能力（教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力等）をみることを主眼とします。課題を与えて論述させます。字数は800字程度です。 〈 面接 〉 個人面接（10分程度）。履修した地理歴史科・公民科の学習内容及び「調査・研究活動に関する報告書」についての質問を含みます。志望動機、教育・社会科教育に対する関心、学習意欲などをみることを主眼とします。 （「 調査・研究活動に関する報告書 」の詳細はp.74に示します）
		英語選修		調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈 面接 〉 個人面接（15分程度）。学習意欲、日本語及び英語の表現力などをみることを主眼とします。 なお、英語による質疑応答を含みます。
		数学選修		調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈 面接 〉 個人面接（10～15分程度）。数学の基本的事項に関する知識、理解力、数学教育に対する学習意欲、自己表現力等をみることを主眼とします。 口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。
		理科選修		調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈 面接 〉 個人面接（10分程度）。志望動機、表現力、理科及び理科教育に対する知識・関心、学習意欲などをみることを主眼とします。
		音楽教育系	音楽選修	調査書、実技検査（音楽）及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈 面接 〉 個人面接（10分程度）。学習意欲と自己表現力、専門に関わる基礎的学力、コミュニケーション能力等をみることを主眼とします。 〈 実技検査（音楽） 〉 音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。 （「 課題 」はp.24に示します）

（※1） 学校教育教員養成課程教育実践科学コースのプレゼンテーションで受験者が当日使用できる資料は、出願時に提出した「プレゼンテーション資料」のコピーのみとなります。

学部	課程・コース等		選抜方法等
教育学部	学校教育教員養成課程	美術教育系 美術選修	調査書、「ポートフォリオ、付属資料1点」及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉個人面接（20分程度）。提出された「ポートフォリオ」、「付属資料1点」を参考にして本選修志願理由、意欲、適性、将来性、コミュニケーション能力、高等学校等での学習状況をみることを主眼とします。 （「ポートフォリオ、付属資料1点」の詳細はp.75～p.76に示します）
		保健体育教育系 保健体育選修	調査書、「運動特技に関する調書」及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉個人面接（10～15分程度）。志望動機、学習意欲、教員としての資質・能力・適性及び高等学校等卒業までの学習状況等を評価します。 （「運動特技に関する調書」の詳細はp.72～p.73に示します）
		技術教育系 技術選修	調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉個人面接（20～30分程度）。中学校技術科の教員を目指す意欲、教員としての資質・能力・適性等の素養をみます。同時に口頭試問では、高等学校等で履修した範囲で、数学・理科・英語の基礎学力について問います。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。
		生活科学教育系 家庭選修	調査書及びプレゼンテーションの結果を総合して評価します。 〈プレゼンテーション〉高等学校等までの学習で理解できる生活にかかわる問題について、「プレゼンテーション資料」に基づいてプレゼンテーション（5分程度）を行い、その内容について質疑応答をします。質疑応答を含めた試験時間は10～15分程度とします。本選修で学ぶために必要な能力（分析力、判断力、論理的構成力、表現力等）をみることを主眼とします。 「プレゼンテーション資料」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておき、試験当日に持参（※1）してください。なお、当日は黒板等に板書しても構いませんが、電子機器類の使用は認めません。 （「プレゼンテーション資料」の詳細はp.77に示します）
	特別支援教育コース	調査書及びプレゼンテーションの結果を総合して評価します。 〈プレゼンテーション〉「活動報告・資料」に基づいて、プレゼンテーション（5分程度）を行い、その内容について質疑応答をします。質疑応答を含めた試験時間は10～15分程度とします。志願者の意欲と適性、自己表現力、高等学校等在籍時の活動内容について評価します。「活動報告・資料」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておいてください。 なお、試験当日は「活動報告・資料」のコピー及び「その他の資料」（※2）を持参し、使用しても構いません。ただし、電子機器類の使用は認めません。 （「活動報告・資料」の詳細はp.74に示します）	
養護教諭養成課程			調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉集団面接（1グループ50分程度）で課題についての討論と質疑を行います。高等学校等卒業程度に求められる国内外の自然的、人間的及び社会的諸事象への関心とそれらへの分析力、判断力及び養護教諭としての適性について評価します。その際、提出された「活動報告・資料」を参考とします。新聞やテレビ・ラジオなどのニュースで話題となる事象を中心とします。集団面接は4～8人程度で行います。ただし、受験者数により変更する場合があります。 （「活動報告・資料」の詳細はp.75に示します）

（※1）学校教育教員養成課程教科教育コース生活科学教育系家庭選修のプレゼンテーションで受験者が当日使用できる資料は、出願時に提出した「プレゼンテーション資料」のコピーのみとなります。

（※2）学校教育教員養成課程特別支援教育コースのプレゼンテーションにおいて使用することができる「活動報告・資料」のコピー以外の「その他の資料」について、ポスターなどを掲示する場合には2、3メートル離れた位置にいる面接員に見えるように配慮してください。また、面接員への配付物がある場合には5部用意してください。

○実技検査（音楽）の課題 <学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育系 音楽選修>

音楽の基礎的能力と表現力をみることを主眼とします。課題は以下のとおりとします。

1. 共通課題 （全員受験すること。楽譜を見て演奏してもよい）	
1) ソルフェージュ	ア) 聴音 8小節の単旋律を書き取らせる。 イ) コールユーブンゲン第1巻原書番号60番から85番中、当日2曲を指定する。 ただし、数字譜及び音階練習は除く。唱法は、移動ド唱法又は固定ド唱法とする。
2) ピアノ練習曲	ア) ピアノ練習曲1（「2. 選択課題」からB、C、D、Eを選んだ者） J. S. バッハ 作曲「二声インヴェンション」より任意の1曲を演奏する。 イ) ピアノ練習曲2（「2. 選択課題」からAを選んだ者） J. S. バッハ 作曲「三声シンフォニア」より任意の1曲を演奏する。
2. 選択課題 （次のA、B、C、D、Eのいずれか一つを選択し、暗譜で演奏する）	
A. ピアノ	ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ウェーバー、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、シューマン、リスト、ブラームス、フォーレ、ドビュッシー、ラヴェル、スクリャービン、ラフマニノフ、プロコフィエフの作品より10分以内の任意の楽曲を1曲演奏する。 ※楽譜は、氏名及び作曲者名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を <u>出願書類と併せて提出すること。</u>
B. 声楽	任意の声楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。開始音を与える。 ※楽譜は、氏名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を <u>出願書類と併せて提出すること。</u>
C. 管楽器	楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サキソフォーン、ファゴット、トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバの中より、一つを選択すること。5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。 ※楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を <u>出願書類と併せて提出すること。</u>
D. 弦楽器	楽器はヴァイオリン又はチェロのいずれかを選択すること。5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。 ※楽器は当日各自持参すること。楽譜（パート譜が望ましい）は、氏名及び楽器名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を <u>出願書類と併せて提出すること。</u>
E. 打楽器	楽器はマリンバとする。5分程度の任意の楽曲を1曲演奏する。伴奏はつけない。 ※マリンバ（F～Fの5オクターヴ）は本学で用意するが、マレットは当日各自持参すること。楽譜は、氏名を1頁目の余白に明記し、A3横置き判1部（コピー可）を <u>出願書類と併せて提出すること。</u>

- (注意) 1. 共通課題及び選択課題は、曲の一部の省略を求めることがあります。なお、繰り返しは省略します。
2. 入学後、選択課題と同一の研究分野を引き続き履修できるとは限りません。

③配点

学部	課程・コース等	調査書	推薦書	志願理由書	調査・研究活動に関する報告書/活動報告・資料/プレゼンテーション資料/英語資格・検定試験	運動特技に関する調書/ポートフォリオ・付属資料	面接/プレゼンテーション	小論文	実技検査	合計	
教育学部 学校教育教員養成課程	教育実践科学コース	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		100			120	
	言語・社会教育系	国語選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			60	40		120
		社会選修	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		60	40		120
		英語選修	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*3)		100			120
	理数教育系	数学選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			100			120
		理科選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			100			120
	音楽教育系	音楽選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			40	60		120
	美術教育系	美術選修	20 (*1)	(*2)	(*2)		20 (*1)	80			120
	保健体育教育系	保健体育選修	20 (*1)	(*2)	(*2)		40	60			120
	技術教育系	技術選修	20 (*1)	(*2)	(*2)			100			120
	生活科学教育系	家庭選修	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)		100			120
	特別支援教育コース	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)			100			120
養護教諭養成課程	20 (*1)	(*2)	(*2)	(*2)			100			120	

(*1) は面接又はプレゼンテーションの参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接又はプレゼンテーションの参考資料として利用することを表します。

(*3) は出願要件等の確認のために提出を求めるものを表します。

3) 理学部

①出願要件

学部	学科・コース	出願要件
理学部	数学・情報数理コース	<p>次の①又は②のいずれか一つを満たし、学習意欲、人物ともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者で、下記の別表に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを高等学校等在学中に受験していること（点数等の条件はありません）。</p> <p>①調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、かつ、数学の学習成績の状況が4.4以上の者 ②自然科学の分野において特記すべき経験を有する者 （スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業による教育を受けて所定の単位を修得し、特記すべき経験を有する者を含む） ※出願要件②で出願する者は、その事実を証明できる書類等の写しを<u>出願時に添付してください</u>。 ※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	物理学コース	<p>次の①又は②のいずれか一つを満たし、学習意欲、人物ともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者で、下記の別表に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを高等学校等在学中に受験していること（点数等の条件はありません）。</p> <p>①調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、かつ、数学又は理科の学習成績の状況が4.2以上の者 ②自然科学の分野において特記すべき経験を有する者 （スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業による教育を受けて所定の単位を修得し、特記すべき経験を有する者を含む） ※出願要件②で出願する者は、その事実を証明できる書類等の写しを<u>出願時に添付してください</u>。 ※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>

<別表>

○理学部 理学科 数学・情報数理コース及び物理学コースの出願要件

英語資格・検定試験の成績は、高等学校等入学以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります（点数等の条件はありません）。また、出願時に、スコア証明書等の写しの提出を求めます。

ケンブリッジ 英語検定 (※1)	実用英語 技能検定 (※2)	GTEC (※3)	IELTS (※4)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※5)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※6)
------------------------	----------------------	--------------	---------------	------	-------------	----------------------	---------------------------------

(※1) ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。

(※2) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施、準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。

(※3) GTEC（Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、**オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）**。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。

(※4) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。

(※5) TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。

(※6) TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験している場合も出願要件を満たしていることとします。

②選抜方法

学部	学科・コース	選抜方法等
理学部	数学・情報数理コース	<p>調査書、小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉数学の基礎学力、論理的思考力、表現力などをみるために、数学の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）とします。</p> <p>〈面接〉個人面接で、面接時間は10分程度で行います。志望動機、志望コースに対する関心の深さ（授業以外の自然科学に関する活動状況等を含む）、学習意欲、コミュニケーション能力等の資質をみます。</p>
	物理学コース	<p>調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。</p> <p>〈面接〉個人面接形式で行います。面接の約30分前に準備室に移動して、20分程度で口頭試問の質問用紙を見て解答方針メモを作成します。続いて面接室での面接を口頭試問を含めて20分程度で行います。まず口頭試問として、数学と理科（物理）の出題に対する解答及び解答方針を問い、基礎学力、論理的思考力及び判断力を確認します。解答時には、先に作成した解答方針メモを使用することができ、黒板等への記述を求めます。続いて、志望動機、志望コースに対する関心の深さ（授業以外の自然科学に関する活動状況等を含む）、学習意欲、コミュニケーション能力等の資質をみます。</p> <p>口頭試問の質問用紙では、数学の問題と理科（物理）の問題を出題します。出題範囲は以下のとおりです。</p> <p>数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）</p> <p>理科：物理基礎、物理</p>

③配点

学部	学科・コース	調査書	推薦書	志願理由書	英語資格・検定試験	面接	小論文	合計
理学部	理学科 数学・情報数理コース	50 (*1)	(*2)	(*2)	(*3)	50	200	300
	物理学コース	50 (*1)	(*2)	(*2)	(*3)	250		300

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接の参考資料として利用することを表します。

(*3) は出願要件等の確認のために提出を求めるものを表します。

4) 工学部

性別によらず出願できる入試区分を「一般枠」、女性のみ出願できる枠を「女子枠」と称します。

機械システム工学科、電気電子システム工学科又は情報工学科を志願する女性、出願する枠を以下の中から選択することができます。

- (1) 一般枠 (2) 女子枠 (3) 一般枠と女子枠の併願 (※)

なお、機械システム工学科、電気電子システム工学科又は情報工学科を志願する男性、物質科学工学科及び都市システム工学科の志願者は、「一般枠」のみの選択となります。

(※) 「一般枠」と「女子枠」の併願は同一学科のみ可能です。「一般枠」と「女子枠」の併願者は、まず「女子枠」で選考を行い、不合格となった場合は、「一般枠」で選考を行います。なお、「一般枠」と「女子枠」の併願者は、「女子枠」で課す選抜方法等を受験することで、「一般枠」も受験したものとみなします。

①出願要件

学部	学科	一般枠	女子枠	出願要件
工学部	機械システム工学科	○	○	次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。 ※女子枠については、上記に該当する女性とします。
	電気電子システム工学科	○	○	次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。 ※女子枠については、上記に該当する女性とします。
	物質科学工学科	○	—	次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。
	情報工学科	○	○	次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。 ※女子枠については、上記に該当する女性とします。

都市システム工学科	○	-	<p>次の要件を全て満たし、社会基盤デザインプログラムでの勉学を強く志望し（*）、基礎学力を有し、安全で快適な社会環境づくりに情熱があり、リーダーシップを発揮できる資質があると出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者</p> <p>②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること</p> <p>※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
-----------	---	---	--

- (*) 学校推薦型選抜の合格者は、入学後、2年次のプログラム選択において優先的に社会基盤デザインプログラムを選択できます。
- 都市システム工学科の学校推薦型選抜では社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者を募集しています。建築デザインプログラムでの勉学を志望する者は、総合型選抜で都市システム工学科に出願してください。なお、一般選抜（前期日程・後期日程）には、社会基盤デザインプログラム、建築デザインプログラムのどちらを志望する者でも出願することができます。

【参考】都市システム工学科の学校推薦型選抜・総合型選抜における志望について

	社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者	建築デザインプログラムでの勉学を志望する者
学校推薦型選抜	○	-
総合型選抜	-	○

<別表>

○工学部の英語資格・検定試験得点換算表

令和4年度（2022年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限り
ます。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

得点	CEFR (※1)	ケンブリッジ 英語検定 (※2)	実用英語 技能検定 (※3)	GTEC (※4)	IELTS (※5)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※6)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※7) (※8)
100点	C2 C1 B2	160以上	2,300以上	1,180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1,560以上
90点	B1	140以上	1,950以上	930以上	4.0以上	225以上	420以上	42以上	1,150以上
70点	A2-3	130以上	1,825以上	820以上	-	180以上	328以上	-	888以上
60点	A2-2	125以上	1,763以上	755以上	-	158以上	281以上	-	756以上
50点	A2-1	120以上	1,700以上	680以上	-	135以上	235以上	-	625以上

(※1) 本学では、CEFRレベルにおいて、A2レベル及びA1レベルをさらに細分化して標記しています。

(※2) ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。

(※3) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施、準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。

(※4) GTEC（Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、**オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）**。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。

(※5) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。

(※6) TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。

(※7) TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限りま。

(※8) TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験し表中の得点を取得している場合も出願要件を満たしていることとします。

②選抜方法

学部	学科	一般枠	女子枠	選抜方法等
工学部	機械システム工学科	○	○	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>【一般枠・女子枠共通】</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、機械システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p> <p>【女子枠のみ追加で実施】</p> <p>〈面接(女子枠用)〉「課題作文」の記載内容に基づく個人面接を10分程度で行い、機械システム工学を学ぶことで、自身がどのように社会に貢献していけるかについて、論理的に説明できる資質をみます。</p> <p>「課題作文」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておき、試験当日に持参（※1）してください。</p> <p>（「課題作文」の詳細はp.80に示します）</p>
	電気電子システム工学科	○	○	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>【一般枠・女子枠共通】</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、電気電子システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p> <p>【女子枠のみ追加で実施】</p> <p>〈面接(女子枠用)〉「課題作文」の記載内容に基づく個人面接を10分程度で行い、電気電子システム工学を学ぶことで、自身がどのように社会に貢献していけるかについて、論理的に説明できる資質をみます。</p> <p>「課題作文」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておき、試験当日に持参（※1）してください。</p> <p>（「課題作文」の詳細はp.80に示します）</p>
	物質科学工学科	○	-	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎）とします。理科については列記した3分野から2つを選択することとします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、物質科学工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>

情報工学科	○	○	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>【一般枠・女子枠共通】</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出题し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、情報工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p> <p>【女子枠のみ追加で実施】</p> <p>〈面接(女子枠用)〉「課題作文」の記載内容に基づく個人面接を10分程度で行い、情報工学を学ぶことで、自身がどのように社会に貢献していけるかについて、論理的に説明できる資質をみます。</p> <p>「課題作文」は出願時に提出を求めます。出願後は一切返却しませんので、必ずコピーを取っておき、試験当日に持参（※1）してください。</p> <p>（「課題作文」の詳細はp.80に示します）</p>
都市システム工学科	○	-	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出题し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、安全で快適な社会環境づくりに対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>

（※1）面接（女子枠用）で受験者が当日使用できる資料は、出願時に提出した「課題作文」のコピーのみとなります。

③配点

学部	学科・コース	出願枠	調査書	推薦書	志願理由書	課題作文	英語資格・検定試験	面接	面接(女子枠用)	小論文	合計
工学部	機械システム工学科	一般枠	50 (*1)	(*2)	(*2)	/	100	150	/	300	600
	電気電子システム工学科										
	情報工学科	女子枠	50 (*1)	(*2)	(*2)	(*3)	100	150	100	300	700
	物質科学工学科	一般枠	50 (*1)	(*2)	(*2)	/	100	150	/	300	600
都市システム工学科											

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接の参考資料として利用することを表します。

(*3) は面接（女子枠用）の参考資料として利用することを表します。工学部機械システム工学科・電気電子システム工学科・情報工学科の「課題作文」は、女子枠に出願する場合にのみ提出が必要となります。

5) 農学部

①出願要件

学部	学科・コース	出願要件
農学部	食生命科学科	<p>次の①、②の要件を両方とも満たし、学業成績及び人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>①調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、かつ、理科の学習成績の状況が4.0以上の者</p> <p>②下記の別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのA2-3以上）を満たす者</p> <p>※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p> <p>※<u>高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を卒業した者又は卒業見込みの者は、学校推薦型選抜（一般推薦）での出願はできません。</u></p>
	地域総合農学科 応用植物科学コース	<p>次の①、②の要件を両方とも満たし、学業成績及び人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>①調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>②下記の別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのA2-3以上）を満たす者</p> <p>※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p> <p>※<u>高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を卒業した者又は卒業見込みの者は、学校推薦型選抜（一般推薦）での出願はできません。</u></p>
	地域共生コース	<p>次の①、②の要件を両方とも満たし、学業成績及び人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>①調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者</p> <p>②下記の別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのA2-3以上）を満たす者</p> <p>※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p> <p>※<u>高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を卒業した者又は卒業見込みの者は、学校推薦型選抜（一般推薦）での出願はできません。</u></p>

<別表>

○農学部食生命科学科及び地域総合農学科の出願要件

英語資格・検定試験の成績は、令和4年度（2022年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限ります。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。

CEFR (※1)	ケンブリッジ 英語検定 (※2)	実用英語 技能検定 (※3)	GTEC (※4)	IELTS (※5)	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT (※6)	TOEIC L&R/ TOEIC S&W (※7) (※8)
A2-3以上	130以上	1,825以上	820以上	4.0以上 (※9)	180以上	328以上	42以上 (※9)	888以上

(※1) 本学では、CEFRレベルにおいて、A2レベル及びA1レベルをさらに細分化して標記しています。

(※2) ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。

(※3) 実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施、準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。

(※4) GTEC（Core／Basic／Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、**オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。**

(※5) IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。

(※6) TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。

(※7) TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限ります。

(※8) TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。

(※9) 基準がないためB1相当の点数とします。

②選抜方法

学部	学科・コース	選抜方法等
農学部	食生命科学科	<p>小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉生物と化学の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎、生物」、「化学基礎、化学」とします。</p> <p>〈面接〉個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>
	地域総合農学科 応用植物科学コース	<p>小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉生物の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎、生物」とします。</p> <p>〈面接〉個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>
	地域共生コース	<p>小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉物理、化学、生物のうち、出願時に届け出た1科目について、基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」とします。</p> <p>〈面接〉個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>

③配点

学部	学科・コース	調査書	推薦書	志願理由書	英語資格・検定試験	面接	小論文	合計	
農学部	食生命科学科	(*1)	(*1)	(*1)	(*2)	100	200	300	
	地域総合農学科	応用植物科学コース	(*1)	(*1)	(*1)	(*2)	100	200	300
		地域共生コース	(*1)	(*1)	(*1)	(*2)	100	200	300

(*1) は面接の参考資料として利用することを表します。

(*2) は出願要件等の確認のために提出を求めるものを表します。

(2) 専門高校推薦

1) 教育学部

①出願要件

学部	課程・コース等				出願要件
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース	技術教育系	技術選修	高等学校又は中等教育学校の農業、工業、商業、水産、情報に関する学科又は総合学科（農業、工業、商業、水産、情報に関する科目から合計して20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和7年3月卒業見込みの者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者とし、学業成績が優秀と認められ、かつ、教職を目指す意欲があり、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ※校長が推薦できる人数に制限はありません。

②選抜方法

学部	課程・コース等				選抜方法等
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース	技術教育系	技術選修	調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して評価します。 〈面接〉個人面接（20～30分程度）。中学校技術科又は高等学校工業科の教員を目指す意欲、教員としての資質・能力・適性等の素養をみます。同時に口頭試問では、高等学校等で履修した範囲で、数学・理科・英語の基礎学力について問います。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。

③配点

学部	学科・課程等				調査書	推薦書	志願理由書	英語資格・検定試験	面接	小論文	合計
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース	技術教育系	技術選修	20 (*1)	(*2)	(*2)	/	100	/	120

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接の参考資料として利用することを表します。

2) 工学部

①出願要件

学部	学科	出願要件
工学部	機械システム工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上習得した者又は修得見込みの者）を令和7年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	電気電子システム工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和7年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任を持って推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	物質科学工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和7年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	情報工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和7年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし、学業成績・学習意欲・人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>
	都市システム工学科	<p>高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科又は総合学科（工業に関する科目を25単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和7年3月に卒業見込みの者 次の要件を全て満たし、社会基盤デザインプログラムでの勉学を強く志望し（*）、基礎学力を有し、安全で快適な社会環境づくりに情熱があり、リーダーシップを発揮できる資質があると出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①調査書の学習成績の状況が4.0以上である者又は茨城大学工学部の一般選抜の個別学力検査等に合格できる程度以上の学力を有する者 ②p.29の別表に示す英語資格・検定試験得点換算表の得点で50点以上を有すること ※校長が推薦できる人数に制限はありません。</p>

(*) 学校推薦型選抜の合格者は、入学後、2年次のプログラム選択において優先的に社会基盤デザインプログラムを選択できます。

都市システム工学科の学校推薦型選抜では社会基盤デザインプログラムでの勉学を志望する者を募集しています。建築デザインプログラムでの勉学を志望する者は、総合型選抜で都市システム工学科に出願してください。なお、一般選抜（前期日程・後期日程）には、社会基盤デザインプログラム、建築デザインプログラムのどちらを志望する者でも出願することができます。

【参考】都市システム工学科の学校推薦型選抜・総合型選抜における志望について

	社会基盤デザインプログラム での勉学を志望する者	建築デザインプログラム での勉学を志望する者
学校推薦型選抜	○	-
総合型選抜	-	○

②選抜方法

学部	学科	選抜方法等
工学部	機械システム工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、機械システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	電気電子システム工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、電気電子システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	物質科学工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎）とします。理科については列記した3分野から2つを選択することとします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、物質科学工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	情報工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、情報工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>
	都市システム工学科	<p>調査書、小論文、英語資格・検定試験及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉基礎学力、思考力、判断力、表現力などをみるために、数学及び理科の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面））と理科（物理基礎、物理）とします。</p> <p>〈面接〉志願理由書・推薦書の記載内容及び調査書に基づく個人面接を10分程度で行い、安全で快適な社会環境づくりに対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。</p>

③配点

学部	学科・課程等	調査書	推薦書	志願理由書	英語資格・検定試験	面接	小論文	合計
工 学 部	機械システム工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600
	電気電子システム工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600
	物質科学工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600
	情報工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600
	都市システム工学科	50 (*1)	(*2)	(*2)	100	150	300	600

(*1) は面接の参考資料としても利用することを表します。

(*2) は面接の参考資料として利用することを表します。

3) 農学部

① 出願要件

学部	学科・コース	出願要件	
農学部	食生命科学科	次の①から③の要件を全て満たし、学業成績及び人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者 ②調査書の全体の学習成績の状況が4.5以上の者 ③下記の別表に示す英語資格・検定試験のいずれかで基準（CEFRのA2-3以上）を満たす者 ※校長が推薦できる人数に制限はありません。	
	地域総合農学科	応用植物科学コース	次の①から③の要件を全て満たし、学業成績及び人物がともに優れ、出身校の校長が責任をもって推薦できる者 ①高等学校又は中等教育学校の農業に関する学科又は総合学科（農業に関する科目を20単位以上修得した者又は修得見込みの者）を令和6年3月以降に卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者 ②調査書の全体の学習成績の状況が4.3以上の者 ③下記の別表に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを受験している者 ※校長が推薦できる人数に制限はありません。
		地域共生コース	③下記の別表に示す英語資格・検定試験のうちいずれか1つを受験している者 ※校長が推薦できる人数に制限はありません。

<別表>

○農学部の英語資格・検定試験得点換算表（専門高校推薦のみ）

令和4年度（2022年度）以降に受験した成績で、かつ、出願期間最終日に有効なオフィシャルスコアに限り
ます。また、出願時にスコア証明書等の写しの提出を求めます。複数の英語資格・検定試験の成績を有している
場合は、換算後の得点が最も高くなる1つを提出してください。

得点	CEFR （※1）	ケンブリッジ 英語検定 （※2）	実用英語 技能検定 （※3）	GTEC （※4）	IELTS （※5）	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT （※6）	TOEIC L&R/ TOEIC S&W （※7）（※8）
100点	C2 C1 B2	160以上	2,300以上	1,180以上	5.5以上	309以上	600以上	72以上	1,560以上
90点	B1	140以上	1,950以上	930以上	4.0以上 （※9）	225以上	420以上	42以上 （※9）	1,150以上
70点	A2-3 （※9）	130以上	1,825以上	820以上	（※9）	180以上	328以上	（※9）	888以上
60点	A2-2	125以上	1,763以上	755以上	-	158以上	281以上	-	756以上
50点	A2-1	120以上	1,700以上	680以上	-	135以上	235以上	-	625以上
30点	A1-2	110以上	1,550以上	470以上	-	-	-	-	473以上
10点	A1-1	100以上	1,400以上	260以上	-	-	-	-	320以上

（※1）本学では、CEFRレベルにおいて、A2レベル及びA1レベルをさらに細分化して標記しています。

（※2）ケンブリッジ英語検定では、「リングスキル（4技能CBT）」の受験成績は利用できません。

（※3）実用英語技能検定については、従来型の「英検」（本会場実施、準会場実施）に加え、「英検S-CBT」の成績も利用できます。

（※4）GTEC（Core/Basic/Advancedタイプ及びCBTタイプ）の成績は、**オフィシャルスコアのみを認めます（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る）。「アセスメント版」での受験成績は利用できません。**

（※5）IELTSは「アカデミック・モジュール」に加え、「ジェネラル・トレーニング・モジュール」の成績も利用できます。

（※6）TOEFL iBTにおいて、「My Best スコア」は利用できません。

（※7）TOEIC（L&R/S&W）は、「公開テスト」を受験した成績に限り利用します。

（※8）TOEIC L&R（990点満点）/TOEIC S&W（400点満点）については、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にした合算スコアを利用します。なお、TOEIC L&RとTOEIC S&Wのうち、1つのみを受験している場合も出願要件を満たしていることとします。

（※9）食生命科学科において、出願要件としている基準です。IELTS及びTOEFL iBTはA2-3の基準がないため、B1の点数を基準とします。

②選抜方法

学部	学科・コース		選抜方法等
農学部	食生命科学科		<p>小論文及び面接の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉生物及び化学のうち、出願時に届け出た1科目について、基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎、生物」、「化学基礎、化学」とします。</p> <p>〈面接〉個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>
	地域総合農学科	応用植物科学コース	<p>小論文、面接及び英語資格・検定試験の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉生物の基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は「生物基礎、生物」とします。</p> <p>〈面接〉個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>
		地域共生コース	<p>小論文、面接及び英語資格・検定試験の結果を総合して評価します。</p> <p>〈小論文〉物理、化学及び生物のうち、出願時に届け出た1科目について、基礎的な問題を出題し、論述的に解答させます。出題範囲は「物理基礎、物理」、「化学基礎、化学」、「生物基礎、生物」とします。</p> <p>〈面接〉個人面接で、志望学科に対する関心と適性、学習意欲と質疑応答力などの資質を10分程度でみます。</p>

③配点

学部	学科・課程等		調査書	推薦書	志願理由書	英語資格・検定試験	面接	小論文	合計
農学部	食生命科学科		(*1)	(*1)	(*1)	(*2)	100	200	300
	地域総合農学科	応用植物科学コース	(*1)	(*1)	(*1)	100	100	200	400
		地域共生コース	(*1)	(*1)	(*1)	100	100	200	400

(*1) は面接の参考資料として利用することを表します。

(*2) は出願要件等の確認のために提出を求めるものを表します。

4. 出願手続

(1) インターネット出願の流れ

手順①	インターネット出願登録 (詳細はp.44参照)	本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスし、マイページの登録及び出願内容の登録を行ってください。
手順②	検定料の支払い (詳細はp.45参照)	手順①の後、インターネット出願サイトの指示に従って検定料をお支払いください。
手順③	出願に必要な書類の送付 (詳細はp.46～p.48参照)	手順②の後、インターネット出願サイトから必要書類を印刷し、他のすべての必要書類とともに本学に送付してください。
手順④	受験票の印刷 (詳細はp.49参照)	出願期間後にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票は志願者各自が印刷して、試験当日に持参してください。

※ **インターネット出願サイトでの入力、検定料の支払いだけでは、出願は受理されません。出願に必要な書類等が提出期間内に大学へ到着して、到着した書類に不備がなく、かつ、出願資格を有することが確認された時点で、出願が受理されます。**なお、ご家庭にインターネット利用や印刷の環境が無い場合は、学校や、公共図書館等のセキュリティ対策が信頼できる場所のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。以上の対応によってもインターネット出願の利用が難しい場合は、令和6年11月1日(金)までに、p.42の入学者選抜に関する問い合わせ先(学務部入試・高大連携課入学試験グループ 電話029-228-8064・8066)へ相談してください。

また、出願後は、出願登録事項及び出願書類の変更は認めません。出願登録及び出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。合格者発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがありますので注意してください。

(2) 出願期間

インターネット出願登録期間及び 検定料支払期間	出願に必要な書類の提出期間 〈 期間内必着 〉
令和6年10月22日(火)00時00分 ～ 11月6日(水)16時30分まで	令和6年11月1日(金)～6日(水)

※ **出願に必要な書類の提出は、郵便局の窓口で書留・速達郵便にて学務部入試・高大連携課入学試験グループへ発送してください(令和6年11月6日(水)必着)。**ただし、期限後に到着したものでも、書留・速達郵便で郵便局の消印が令和6年11月5日(火)までのものについては受け付けます。

なお、本学に直接持参して提出する場合は、提出期間中(11月2日、3日、4日は除く)の各日9時から16時30分までの時間に受け付けます。持参による提出の最終受付は提出期間最終日の16時30分となり、以降は持参による提出は受け付けできませんので注意してください。

インターネット出願サイトでの入力・登録期限及び検定料の支払期限に関わらず、郵便事情等を十分考慮の上、余裕を持って発送できるよう注意してください。

(3)問い合わせ先等

○インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関する問い合わせ先

(株)キャリアタス「学び・教育」サポートセンター

電話 0120-202-079 (平日10:00~18:00/土・日・祝日・年末年始を除く)

※入学者選抜に関する質問については、以下の問い合わせ先に連絡してください。

○入学者選抜に関する問い合わせ先/出願書類提出先

茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8064・8066 (平日9:00~17:00/土・日・祝日・年末年始を除く)

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

◆インターネット出願サイトへのログインについて

インターネット出願では、出願登録時、検定料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。ログインは、インターネット出願サイトからログイン画面にアクセスして、マイページの登録の際に使用した「メールアドレス」及び「パスワード」を入力してください。

(4) 事前準備

インターネット出願を行う前に、以下の事項を本学の「インターネット出願サイト」内の「事前準備」と併せて必ず確認してください。

準備事項	内容
パソコン等の動作環境	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p><ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。</p> <p>※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、閲覧等は可能ですが推奨環境ではありません。一部の端末からは画面が正常に表示されない場合がありますので、パソコンからの利用を推奨します。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレス（大学入学時まで使用できるもの）を用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p style="text-align: center;">@e-apply.jp（以下の①～③の連絡用） @vc.ibaraki.ac.jp（臨時連絡用）</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の3通のメールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マイページ本登録への案内メール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③検定料支払完了時の自動送信メール <p>（その他、受験票の印刷を案内するメールを送信する場合があります。）</p> <p>※入学するまでメールアドレスは変更しないでください。</p>
志願者本人の写真(データ)の用意	<p>インターネット出願登録にあたって、顔写真データ（2MBまで）が必要です。写真は本人確認に利用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、既に印刷等された写真を再度カメラ等で撮影・スキャンしているもの等。</p>
その他必要書類の用意	<p>高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください。（p.46～p.48参照）</p>
角形2号封筒の用意	<p>必要書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を用意してください。</p>
様式印刷の用意 （プリンター、用紙等）	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンター及び印刷用紙（普通紙、PPC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません（個人情報の取り扱いには十分注意してください）。</p>
<該当者のみ> 障害等のある入学志願者の 事前相談（p.53参照）	<p>障害等のある者で、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、事前に茨城大学アクセシビリティ支援室に相談してください。試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合においても、受験上の配慮申請が必要となります。</p>

(5)手順① インターネット出願登録

インターネット出願登録期間内に本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」ボタンをクリックして、出願に必要な情報を入力・登録してください。トップページ下段の「インターネット出願利用手順」及び学生募集要項をよく読んでから、入力・登録を開始してください。

手 順	
(1) サイトにアクセス	<p>本学ホームページ (https://www.ibaraki.ac.jp/) から、「インターネット出願サイト」にアクセス。(p.1を参照し直接アクセスすることも可能です) トップページの「マイページ登録」ボタンをクリック。</p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(2) マイページの登録	<p>入力画面に沿って「メールアドレス」、「パスワード」及び「個人情報等」を登録してください。</p> <p>※メールアドレス登録時に、本登録案内のメールが届きます。</p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(3) 出願登録	<p>入力画面に沿って入力、登録をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選抜区分、志願学部、学科・課程等 ・志願者情報、出願資格（出身学校等）情報等 ・その他事項（英語資格・検定試験等） <p>※志願者連絡先の「電話番号」は、提出書類に不備がある場合等の緊急連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れる番号を入力してください。</p> <p>※顔写真データ（p.43参照）のアップロードも、ここで行います。画面上で写真サイズを切り取る（トリミング）こともできます。</p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(4) 申込内容の確認	<p>入力が完了すると、入力内容の確認画面が表示されます。内容をよく確認して、誤りがなければ「上記内容で申込みする」ボタンをクリックしてください。</p> <p>これ以降は入力内容の変更はできませんので、注意してください。</p> <p style="text-align: center;">▼</p>
(5) 登録完了	<p>画面に「受付番号」が表示されたら入力は完了です。引き続き「検定料支払手続き」に進んでください。</p> <p>登録したメールアドレス宛に、登録完了メールが届きます。メールにも記載される受付番号は、入学手続終了まで大切に保管してください。</p> <p>※「受付番号」は、受験番号ではありません。受験番号は出願期間終了後に発行される「受験票」に記載されます。</p>

【インターネット出願登録に関する注意事項】

1. インターネット出願登録（Web入力）を完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、検定料の支払い及び出願に必要な書類の提出を、必ず期間内に行ってください。
2. インターネット出願登録後に、その日を含む4日以内の23時59分までに検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータは支払い期限超過となり、それ以降の手続きが出来なくなります。
3. インターネット出願登録後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払いの前に誤りに気付いた場合は、検定料を支払わずに、もう一度新たに
出願登録をやり直してください。（誤った出願申込データは、必ずマイページから削除してください）
4. 顔写真データは、出願写真として適切でないと判断された場合には、再提出となる場合があります。

(6)手順② 検定料の支払い

検定料の支払いは、手順①のインターネット出願登録後に行います。出願登録後に、以下のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

○出願登録完了画面から引き続き、「引き続き支払う」をクリックする。

○インターネット出願サイトからログインして、マイページの「お支払い」をクリックする。
支払方法を選択して、支払期間内に検定料の支払手続きを行ってください。

検定料	支払期間
17,000円	●令和6年10月22日(火)～11月6日(水)16時30分まで ●上記期間内で、インターネット出願登録した日を含む4日以内の23時59分までに支払ってください。ただし、インターネット出願登録した日から4日に満たず11月6日(水)16時30分になった場合は、それ以降の支払いはできませんので注意してください。

※検定料支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は支払手続き画面に表示されます。

支払方法	取扱機関等
クレジットカード (出願登録時に支払い完了)	VISA / MasterCard / JCB / AMERICAN EXPRESS / MUFGカード / DCカード / UFJカード / NICOSカード
ネットバンキング (Webで手続き完了)	ペイジー対応ネットバンキング/PayPay銀行/楽天銀行/住信SBIネット銀行/auじぶん銀行 ※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です。
コンビニエンスストア (各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し、支払う)	セブン-イレブン/ローソン、ミニストップ (Loppi) / ファミリーマート (マルチコピー機) / デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア/セイコーマート
郵便局・銀行ATM (ATMの画面表示に従って必要情報を入力し、支払う)	ペイジー対応銀行ATM (ゆうちょ銀行も含まれます)

【検定料支払いに関する注意事項】

1. 検定料支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、出願に必要な書類の印刷及び提出を、期間内に必ず行ってください。
なお、インターネット出願サイトからの必要書類の印刷は、検定料支払い前にはできません。
2. 支払手続きに関する詳細・注意点等は、インターネット出願サイトのトップページ「お支払い方法」も併せて参照してください。
3. 支払期間を過ぎると、検定料を支払うことはできません。
4. 支払期間内に検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータは支払い期限超過となり、それ以降の手続きが出来なくなります。
5. クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、志願者本人でなくても構いません。

【検定料の返還について】

次のア)、イ)の場合を除き、原則、支払われた検定料はいかなる理由があっても返還できません。

ア) 検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが、出願が受理されなかった場合

イ) 検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合

ただし、返還される金額は検定料から振込手数料を差し引いた金額になります。

検定料の返還に該当する方は、巻末に記載の入学選抜に関する問い合わせ先に申し出て、所定の手続きをしてください。

(7)手順③ 出願に必要な書類の送付

出願に際して提出する必要書類は、下表のとおりです。出願に必要な書類の送付は、手順②の検定料の支払い後に行います。インターネット出願サイトのマイページから、「出願書類」を印刷し、「出願書類提出用宛名シート」を剥がれないように貼付した市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に、出願書類及びその他必要な書類を同封して、提出期間内に書留・速達郵便で本学へ送付してください。

	提出書類等	取得方法	記入方法・注意事項等
志願者全員が提出するもの	入学志願者名票	検定料支払手続後に、インターネット出願サイトにログインして印刷してください。	A4サイズでカラー印刷してください。
	写真票		A4サイズでカラー印刷してください（入学志願者名票と同時に印刷できます）。切り取り等をせずに、 A4サイズのまま提出してください。
	出願書類提出用宛名シート		A4サイズでカラー印刷してください（入学志願者名票と同時に印刷できます）。角形2号封筒の表面に、剥がれないように全面的り付けで貼付してください。
	調査書	各高等学校等にてご用意ください。	<p>文部科学省の定めた様式により出身校の校長が作成し、厳封したものとします。</p> <p>※被災その他の事情により調査書が得られない場合には、早急に学務部入試・高大連携課入学試験グループ（029-228-8064・8066）まで連絡してください。</p> <p>【注意事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績の状況については、評定の合計数を評定数で除し、小数点以下第2位を四捨五入してください。 2. スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業等により、本学が出願要件として指定する「履修した（している）教科・科目」と名称は異なるが、それに相当する教科・科目を設定している場合は、その対応関係を「備考」欄に記載してください。なお、記載しきれない場合は、対応関係を記載した別紙を付けてください。
	推薦書（様式1）	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。	本学所定の様式により、出身校の校長が作成し、 厳封 したものとします。学部ごとに様式が異なりますので、注意してください。
	志願理由書（様式2）		本学所定の様式に、志願者本人が直筆で記入してください。学部ごとに様式が異なりますので、注意してください。
	出願書類提出用角形2号封筒	市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を各自で用意してください。	出願に必要な書類をすべて封入し、宛名シートを貼付して郵送、提出してください。

		提出書類等	取得方法	記入方法・注意事項等	
該 当 者 の み が 提 出 す る も の	教 育 学 部	保健体育選修	運動特技に関する調書 (様式3)	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。 本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。 【注意事項】 「特技とする運動種目の成績・記録」の欄に記入した成績・記録について、次の資料の写し(コピー)を提出してください。 ①大会プログラム 大会名、主催者及び開催年月日など大会の概要がわかるもの。 ②個人やチーム等が大会等に出場したことを証明する資料 志願者本人の氏名が記載されたスコアシート(公式記録用紙)又は雑誌・新聞・インターネットの記事・賞状など。チーム等の場合は、志願者本人が出場していることや役割等が分かる資料も追加してください。 資料の枚数に制限はありませんが、A4判の大きさに調整する、ステープラー(ホッチキス)で留める等、整理した上で提出してください。	
		教育実践科学コース	「プレゼンテーション資料」確認票 (様式4-実践)	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。
			プレゼンテーション資料 (様式5-実践)		本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。
		社会選修	「調査・研究活動に関する報告書」確認票 (様式4-社会)	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。
			調査・研究活動に関する報告書		各自で作成してください。
		音楽選修	楽譜	各自で用意してください。	p.24に記載された実技検査(音楽)の「2.選択課題」に関する楽譜(A3横置き判1部・コピー可)
		美術選修	「ポートフォリオ・付属資料1点」確認票 (様式4-美術)	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。
			ポートフォリオ		各自で作成してください。
			付属資料1点		各自で作成してください。
		家庭選修	「プレゼンテーション資料」確認票 (様式4-家庭)	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。
			プレゼンテーション資料		各自で作成してください。
		特別支援教育コース・養護教諭養成課程	「活動報告・資料」確認票 (様式4-特支、養教)	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。
			活動報告・資料		各自で作成してください。

		提出書類等	取得方法	記入方法・注意事項等
該当者のみが提出するもの	人文社会科学部	全学科	各自で取得したものを用意してください。	<p>各学部の出願要件等に必要英語資格・検定試験について、スコア証明書等の写し（A4サイズのコピー）を提出してください。写しは、英語資格・検定試験の名称、受験者の氏名、受験番号、受験日（又は受験回）が記載されている下記の試験実施団体が公式に認めたスコア証明書等から作成してください。なお、本学から実施団体に、証明書等が真正であることを確認する場合がありますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>○ケンブリッジ英語検定 ○実用英語技能検定 ○GTEC（OFFICIAL SCORE CERTIFICATEに限る） ○IELTS ○TEAP ○TEAP CBT ○TOEFL iBT ○TOEIC L&R/TOEIC S&W</p> <p>※証明書等の発行に期間を要する検定試験がありますので、本学の出願期間に間に合うように、所定の手続きをしてください。</p>
	教育学部	英語選修		
	理学部	全コース		
	工学部	全学科		
	農学部	全学科		
	人文社会科学部	現代社会学科・法律経済学科	その他の資格・検定試験の成績証明書等（写し）	各自で取得したものを用意してください。
理学部	全コース	出願要件の事実を証明できる書類	各高等学校等にてご用意ください。	理学部各コースの「出願要件②」で出願する者は、その事実を証明できる書類を提出してください。
工学部	電気電子システム工学科・機械システム工学科・情報工学科	面接(女子枠用)の「課題作文」	本学ホームページから、様式を各自でダウンロードしてください。	作成要領に従って作成し、他の出願書類と共に提出してください。

【出願に必要な書類に関する注意事項】

1. 出願に必要な書類を提出期間内（必着）に提出し、本学で書類に不備がないことが確認されることにより、出願手続き完了となります。提出期間内に必要書類が届かなかった場合は受付しませんので、余裕を持った出願を心がけてください。
2. インターネット出願サイト及び本学ホームページから各自でダウンロードする書類のPDFファイルは、あらかじめA4サイズのデータになっていますので、プリンター等の「ページ処理」設定での「ページの拡大/縮小」は「なし」、「自動回転と中央配置」に「チェック」を入れて、印刷してください。「用紙に合わせる」や「大きいページを縮小」等に設定した場合、正しいサイズで印刷されないことがあります。
3. 出願受理後は、提出された書類は返却しません。
4. 書類に印字された「学部・学科」等の出願情報を手書きで修正することはできません。
5. 提出された必要書類に不備・不足等がある場合は、出願を受理できない場合があります。
6. 提出書類に必要な事項を記入する際は、黒インクのペン又は黒ボールペンを使用してください。
7. 出願に必要な書類を送付する際は、1枚の封筒に志願者1名の書類のみを入れて提出してください。
8. 出身学校等で複数名の出願書類をとりまとめて提出する場合は、志願者1名ごとに「出願書類提出用宛名シート」を貼付した角形2号封筒に必要書類を封入し、それら個人別の封筒を別の大型封筒に入れ、**志願学部を記載した志願者の名簿を添えて**提出してください。その際に、**大型封筒に「入学願書〇〇名分在中」と朱書して**、出願期間内に**書留・速達郵便で郵送**してください。

(8)手順④ 受験票の印刷

「**受験票**」は、出願期間後にインターネット出願サイト上で発行され、印刷できるようになります。インターネット出願サイトにログインして受験票をダウンロード（本学からは発送されません）の上、**印刷して試験当日に持参してください。**

また、**試験当日の注意事項や入室開始時刻、遅刻限度時刻等を記した「受験者心得」**も受験票と同時に発行されますので、印刷して、必ず内容を熟読してください。

◆ 受験票の印刷開始日：令和6年11月11日（月）

試験当日に持参するもの
<input type="checkbox"/> 「 受験票 」 各自で印刷して、切り取り線に沿って切って持参してください。
<input type="checkbox"/> 「 受験者心得 」 受験票と同時にダウンロード・印刷の上、必ず熟読して試験に臨んでください。

【受験票に関する注意事項】

1. 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。出願登録した内容と異なっている場合は、入学者選抜に関する問い合わせ先（学務部入試・高大連携課入学試験グループ）へ令和6年11月13日（水）までに連絡してください。
また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
2. 受験票の印刷開始日以降になっても受験票が印刷できない場合は、入学者選抜に関する問い合わせ先（学務部入試・高大連携課入学試験グループ）へ令和6年11月13日（水）までに連絡してください。
3. **実際に試験を受ける「試験場」が受験票に記載されますので、必ず確認し、間違えないよう到来してください。**受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験を認めません。
4. インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
5. 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。
6. 受験票は入学手続きに必要となりますので、紛失しないように大切に保管してください。

(9)出願にあたっての注意事項

本学の学校推薦型選抜に出願した者は、不合格だった場合に備えて、一般選抜（前期日程及び後期日程）に出願することが可能です。その場合、本学の一般選抜への出願は、10月上旬にホームページで公表予定の「令和7年度（2025年度）一般選抜学生募集要項」に従ってください。ただし、この場合には、令和7年度大学入学共通テストを受験しなければなりません。なお、一般選抜へ出願する場合には、学校推薦型選抜の出願書類及び検定料とは別に、改めて出願書類を提出し、検定料を納入する必要があります。

5. 試験日程・試験場

(1) 試験日程

①一般推薦（一般枠・女子枠）

学部、学科・課程等				令和6年11月23日（土）																										
				9:00			10:00			11:00			12:00			13:00			14:00			15:00			16:00			17:00		
				30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30
科学部 人文社会	現代社会学科																													
	法律経済学科																													
	人間文化学科																													
教育学部	教育実践科学コース																													
	学校教育教員養成課程	言語・社会教育系	国語選修																											
			社会選修																											
			英語選修																											
		理数教育系	数学選修																											
			理科選修																											
		音楽教育系	音楽選修																											
		美術教育系	美術選修																											
		保健体育教育系	保健体育選修																											
		技術教育系	技術選修																											
生活科学教育系	家庭選修																													
特別支援教育コース																														
養護教諭養成課程																														
理学部	理学科	数学・情報数理コース																												
		物理学コース																												
工学部	機械システム工学科																													
	電気電子システム工学科																													
	物質科学工学科																													
	情報工学科																													
	都市システム工学科																													
農学部	食生命科学科																													
	地域学総合	応用植物科学コース																												
		地域共生コース																												

②専門高校推薦

学部、学科・課程等					令和6年11月23日（土）																										
					9:00			10:00			11:00			12:00			13:00			14:00			15:00			16:00			17:00		
					30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30	0	30
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育コース	技術教育系	技術選修																											
工学部	機械システム工学科																														
	電気電子システム工学科																														
	物質科学工学科																														
	情報工学科																														
	都市システム工学科																														
農学部	食生命科学科																														
	地域学総合	応用植物科学コース																													
		地域共生コース																													

(2) 試験場

実施学部	試験場名	所在地
人文社会科学部	人文社会科学部試験場	茨城県水戸市文京 2 - 1 - 1 (水戸キャンパス)
教育学部	教育学部試験場	
理学部	理学部試験場	
工学部	工学部試験場	茨城県日立市中成沢町 4 - 12 - 1 (日立キャンパス)
農学部	農学部試験場	茨城県稲敷郡阿見町中央 3 - 21 - 1 (阿見キャンパス)

(注) 1. 試験場は、p.59～p.60の「試験場等案内図」を参照してください。

2. **受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験できませんので注意してください。**

3. 志願状況によっては、試験場を変更又は追加することがあります。その場合、変更又は追加された試験場を受験票に記載しますので、必ず確認し、間違えることのないようにしてください。

4. 各試験場には駐車場はありません。受験者の送迎も含め、試験場周辺での駐停車は近隣住民の迷惑になります。試験場に来場する際には、公共交通機関を利用してください。

5. 各試験場の試験室等の案内図は、試験当日に配付もしくは掲示します。

6. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除

茨城大学では、災害等で被災した受験者の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜のお願いに際し、入学検定料免除の特別措置を実施します。

(1) 特別措置の対象となる入学者選抜

令和6年度中に実施する本学の入学者選抜

(一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜)

(2) 措置内容

入学検定料の免除

(3) 対象者及び対象となる災害

上記1の本学入学者選抜に願する方で、次のいずれかに該当する者

- ①平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した者で、次のいずれかに該当する場合
 - 1) 主たる家計支持者が所有する家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - 2) 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
- ②居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者

(4) 申請方法

申請希望者は、各選抜の願受付開始1週間前までに茨城大学学務部入試・高大連携課(029-228-8064)に連絡し、相談してください。相談の結果、該当すると判断された場合には、「入学検定料免除申請書(注)」及び下記事由に関する証明書等(写し可)を下記提出先に提出してください。

- ①平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災
 - 1) 主たる家計支持者が所有する家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」
 - 2) 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
 - ◆主たる家計支持者の「死亡又は行方不明を証明する書類」
- ②居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
 - ◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」又は「被災証明書」等

(5) 提出先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

(6) 審査結果の通知

入学検定料免除の審査結果は、原則として願受理後に本学から送付します。

(注) 入学検定料免除申請書については、事前に本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、入学検定料免除のための事由に関する証明書(罹災証明書等)を添付し、提出してください【ダウンロード場所：<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/exemption/>】。願時までに、証明書を提出できない方は、願期間までに入学検定料を納入し、願手続きを行ってください。後日、入学検定料免除申請書類が揃いましたら、入学検定料相当額を返還いたします。

7. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、随時相談に応じますので、茨城大学アクセシビリティ支援室に相談してください。

相談は、志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を令和6年9月27日（金）までに提出してください。なお、期限までに提出できなかった者は、早急に茨城大学アクセシビリティ支援室まで連絡してください。期限を過ぎて提出した場合でも相談は受け付けますが、相談時期や内容等によっては対応できない場合があります。

- ・ 受験上等配慮申請書（以下の作成様式を参考に作成してください）
- ・ 医師の診断書の写し又は障害者手帳の写し
※ 診断書が発行されず、障害者手帳も所持していない場合は、その旨を申し出てください。
- ・ 大学入学共通テストの「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テスト受験者のみ）

(2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について志願予定学部・学環と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります）の上、配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることとなりますので、申請にあたってはあらかじめご了承ください。

(3) 申請書類の提出先及び問い合わせ先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学アクセシビリティ支援室
電話 029-228-8055

作成様式（A4判縦により作成してください）

茨城大学長 殿	令和 年 月 日
	申請者氏名 _____ 印
受 験 上 等 配 慮 申 請 書	
令和7年度茨城大学入学者選抜を受験するにあたり、下記のとおり配慮の申請をします。	
記	
1. 志願者氏名	〇〇 〇〇 年 月 日生（ 歳） 男・女
2. 卒業（見込）学校名	年 月 日卒業（見込）
3. 志願者住所	〒 TEL：（ ） -
4. 志願予定選抜	学校推薦型選抜（一般推薦一般枠・一般推薦女子枠・専門高校推薦）
5. 志願予定学部・学環、学科・課程（コース・系・選修）等	
6. 受験上で希望する配慮内容及び理由	
7. 修学上で希望する配慮内容及び理由	
8. 出身学校での就学状況（出身学校関係者（教諭等）が具体的に記入）（記入者氏名・印）	
9. 添付書類	

8. 合格者発表

(1)発表日時

発表日時	掲載サイト
令和6年12月6日（金）13時	本学ホームページ【 https://www.ibaraki.ac.jp/ 】上で合格者の受験番号を発表します

(2)発表方法

合格者については、本学ホームページに合格者の「受験番号」を発表するとともに、本人あてに「合格通知書」及び「入学手続関係書類」を速達郵便で送付（合格者発表日に発送）します。

また、校長宛には志願者の選考結果を通知します。

- (注) 1. 合格者発表に関する電話等による照会には、一切応じていません。
2. 合格電報等は、取り扱っていません。
3. 不合格者本人には、選考結果を通知していません。
4. **出願後、合格者発表までの期間に引越し等により住所（出願登録時に入力した志願者連絡先）に変更があった者は、速やかに下記の問い合わせ先まで連絡してください。**
5. 合格者発表日から3日たっても合格関係書類が到着しない場合は、出願時の住所を確認の上、速やかに下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

〈出願後の住所変更及び合格関係書類発送についての問い合わせ先〉

茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ 電話 029-228-8064・8066

(3)合格者への諸注意

- ①「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」は入学手続時に必要となりますので、紛失しないように大切に保管してください。
- ②入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないままとすることのないように注意してください。
- ③学校推薦型選抜の合格者は、本学及び他の国公立大学を受験しても合格者とはなりません。ただし、次の④により、入学辞退を許可された場合を除きます。
- ④学校推薦型選抜の合格者が、やむを得ない事情により入学することができなくなった場合には、本人と出身校の校長が連署した「推薦入学辞退願」（様式は任意）を**令和6年12月19日（木）17:00までにp.54～p.55の9. 入学手続等（2）入学手続方法及び必要書類等の手続書類提出先へ提出**し、本学学長の許可を得なければなりません。

9. 入学手続等

合格者は、入学時納付金を納付の上、下記の入学手続期間中に、入学手続を完了してください。

この入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、本学学校推薦型選抜合格者としての権利は消失します。入学手続を完了しなかった場合には、「推薦入学辞退願」（p.54の8. 合格者発表(3)合格者への諸注意④）の手続きを行わない限り、本学又は他の国公立大学を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。

入学手続の詳細については、合格通知書とともに改めて通知します。

(1)入学手続期間

令和6年12月16日（月）～19日（木）

(2)入学手続方法及び必要書類等

①入学手続方法

入学手続は、原則として郵送（書留・速達郵便）により、**入学手続期間内必着**で行ってください。

ただし、やむを得ない理由により郵送できない場合は、入学手続期間最終日に限り、入学手続窓口において、9時から17時まで（時間厳守）持参による手続きを受け付けます。

②必要書類

茨城大学学校推薦型選抜受験票	入学手続完了後に返却します。
大学入学共通テスト受験票（写し）	大学入学共通テストに出願した者は、受験票の写しを同封して提出してください。写しの余白には学校推薦型選抜で合格した学部、学科・課程等及び受験番号を記入してください。
その他の提出書類	合格通知書と併せて、別途通知します。

〈入学手続についての問い合わせ及び手続書類提出先〉

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 電話 029-228-8414
茨城大学スタディサポート室(入学手続担当)

(3)納付金

①入学金

◇ 納入金額

282,000円

※入学金の改定が行われた場合には、改定時から新入学金が適用されます。

◇ 納入方法

入学金は、合格通知書とともに送付する払込用紙により金融機関窓口にて、入学手続期間中に納入してください。

金融機関から振替払込受付証明書を受け取り、上記手続書類に同封してください。

郵便局、銀行、信用金庫、農協など全国の金融機関窓口で納入できます。(ATMは使用しないでください)

②その他の納付金

①の入学金と併せて、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険(Aコース)、茨城大学教育研究助成会費、学部後援会費、学部同窓会費のほか、1年次に2回と3年次に1回の計3回実施されるTOEIC IPテストの受験経費など、より良い学修の実施に充てるための経費を納入いただく必要があります。

詳細につきましては入学手続関係書類でお知らせします。

③授業料

◇ 納入金額

前期分 267,900円 (年額 535,800円)

後期分 267,900円

※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

◇ 納入方法

事前に引き落とし口座の登録をしていただき、口座引き落としにより納入していただきます。

引き落とし日は、前期分は令和7年5月末、後期分は令和7年11月末の予定です。

納入方法の詳細につきましては、入学手続関係書類でお知らせします。

〈入学金及び授業料の納入についての問い合わせ先〉

茨城大学財務部財務課経理グループ 電話 029-228-8561

(4)学費の免除及び徴収猶予（延納・月割分納）

入学金については免除及び徴収猶予（延納）、また、授業料については免除及び徴収猶予（延納・月割分納）制度があります。

入学時に学費の免除及び徴収猶予の申請を行う場合、審査結果が通知されるまでの期間は学費の納入が猶予されます。具体的な手続きは入学手続関係書類でお知らせします。

①高等教育の修学支援新制度

国の高等教育の修学支援新制度により、日本学生支援機構の給付奨学金に採用された方は、入学料免除、授業料免除を受けることができます。本制度については高等学校在学時に予約申請されることをお勧めします。なお令和7年度から実施予定の「多子世帯の大学等授業料・入学金の無償化」の詳細については、入学手続関係書類でお知らせします。

本制度の詳細は以下のホームページをご覧ください。

○国の施策「高等教育の修学支援新制度」（新制度）

文部科学省：https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/

○給付奨学金の制度概要

日本学生支援機構：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/>

②その他の学費免除・徴収猶予制度

本学の経済支援制度についての最新情報は、ホームページで公表しています。

○茨城大学ホームページ（経済支援関係）

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicsupport/>

〈学費免除、徴収猶予についての問い合わせ先〉

茨城大学スチューデントライフサポート室 電話 029-228-8059・8067

(5)奨学金について

①日本学生支援機構奨学金

返還を要しない「給付奨学金」及び、返還を要する貸与奨学金の「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があります。本制度については高等学校等在学時に予約申請されることをお勧めします。

なお、日本学生支援機構の給付奨学金に採用された場合、学費免除の支援が受けられることとなります。奨学生に採用されるには、日本学生支援機構で定める、収入等の基準や、学力基準を満たしている必要があります。詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

日本学生支援機構ホームページ：<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

②地方公共団体及び公益法人等の奨学金

日本学生支援機構の他にも、地方公共団体や公益法人等の奨学団体が行っている奨学金制度があります。申請にあたっては、奨学団体ごとに定める募集資格等を満たしている必要があります。

本学に案内のあった募集内容については、本学ホームページ及び学内の教務情報ポータルシステムを利用し、随時在学生向けに案内しています。

○茨城大学ホームページ（経済支援関係）

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicsupport/>

〈各種奨学金についての問い合わせ先〉

茨城大学スチューデントライフサポート室 電話 029-228-8059・8067

(6)学生寮への入寮の申請手続

学生寮の入寮者は、家計状況等を総合的に勘案して選考を行い、決定します。入寮希望者は、本学ホームページ内「学生寮」のページに掲載される申請手続きの案内を参照してください。（令和7年1月に掲載予定）

○茨城大学ホームページ（学生寮）

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/facility/dormitory/>

〈学生寮についての問い合わせ先〉

茨城大学スチューデントライフサポート室 電話 029-228-8060

10. 入学前学修

茨城大学では、一人ひとりの学生が主体的・能動的な学びをとおしてしっかりと成長を実感できる教育をめざしています。そこで本学では、学校推薦型選抜入学手続完了者に対して、4月に入学するまでの約3か月間、学びに向き合う姿勢を継続してもらうために、「入学前学修」を実施します。本学では、大学4年間に学生一人ひとりが主体的・能動的に学び、社会で役立つ様々な実践的な力を身に付けてもらうことから、高等学校等までの「学習」ではなく、「学修」という言葉を用いています。学校推薦型選抜入学手続完了者には、それぞれの学部の「入学前学修」に取り組んでもらいます。

「入学前学修」の内容は、本学入学まで学びをスムーズに接続できるように、それぞれの学部・学科等で工夫しています。合格者には、それぞれの学部・学科等から具体的な「入学前学修」の案内が送付されますので、それに従って、「入学前学修」に必要な手続を行ってください。

11. 情報提供

(1) 入学者選抜個人成績の開示

当該年度の入学者選抜の個人成績を、試験終了後、受験者本人に限って開示します。

①申請期間等 令和7年5月1日（木）～5月9日（金）

※郵送の場合は5月9日（金）消印有効

※持参の場合の受付は平日の9時から12時まで及び13時から17時までに限ります。

②申請者 受験者本人に限ります。

③申請方法 次の書類を下記④の申請先に郵送で提出するか、又は持参してください。

1) 茨城大学入学者選抜情報開示申請書

本学ホームページに掲載する他、入試・高大連携課窓口で配付します。

2) 本学の受験票の写し

3) 大学入学共通テストの受験票の写し（一般選抜・理学部の総合型選抜受験者のみ）

4) 本人確認のできる書類の写し（学生証、免許証、パスポート等）

5) 返信用封筒（長形3号/120mm×235mm）

申請者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、460円分（簡易書留料金）の切手を貼り付けてください。ただし、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

※電話での申し込みは受け付けません。

④申請先 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

⑤開示方法 申請者あてに、簡易書留郵便で6月上旬に発送します。

⑥開示内容 次のとおり選抜ごとに異なります。

○一般選抜

【得点】 大学入学共通テストと個別学力検査等のそれぞれの得点の合計及び総得点を開示します。

【評価】 合格者には、A・B・Cのランクにより開示します。

不合格者には、段階別（5段階程度）に区分して開示します。

ただし、不合格者が5人未満の場合は開示しません。

【調査書】 開示しません。

○学校推薦型選抜、総合型選抜、帰国生徒選抜、私費外国人留学生選抜

【得点】 開示しません。

【評価】 合格者には、開示しません。

不合格者には、段階別（3段階程度）に区分して開示します。

ただし、不合格者が5人未満の場合は開示しません。

【調査書】 「総合的な探究の時間の記録」、「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄を除いた調査書の写し（コピー）を開示します。

ただし、調査書を出願書類にしていない選抜を除きます。

⑦その他 順位についてはいずれの試験区分も開示しません。

(2) その他の情報提供について

当該年度の入学者選抜の志願者数、受験者数及び合格者数等の情報については、本学ホームページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/situation/>】で随時提供します。

また、前年度の選抜結果及び過去の入試問題、一般選抜合格者成績情報（合格者の最高点・平均点・最低点）についても、本学ホームページに掲載しています。

12. 個人情報の取扱い

本学は、「個人情報の保護に関する法律」及び本学が定める「国立大学法人茨城大学個人情報の保護及び管理規程」等に基づき、個人情報の適正な管理と保護を行っています。

出願及び入学手続き時に取得する受験者・入学志願者の氏名、生年月日、性別、試験成績その他の個人情報等は次の目的に利用します。

- ・入学者選抜並びに合格者発表及び入学手続きに関する業務
- ・合格者の入学後の教務（学籍管理、修学指導等）、学生支援（健康管理、奨学金、授業料免除、就職支援等）、授業料等に関する業務
- ・入学者選抜方法等の改善や広報のための調査、分析及び研究
- ・個人が特定できない形での統計データへの加工及び利用

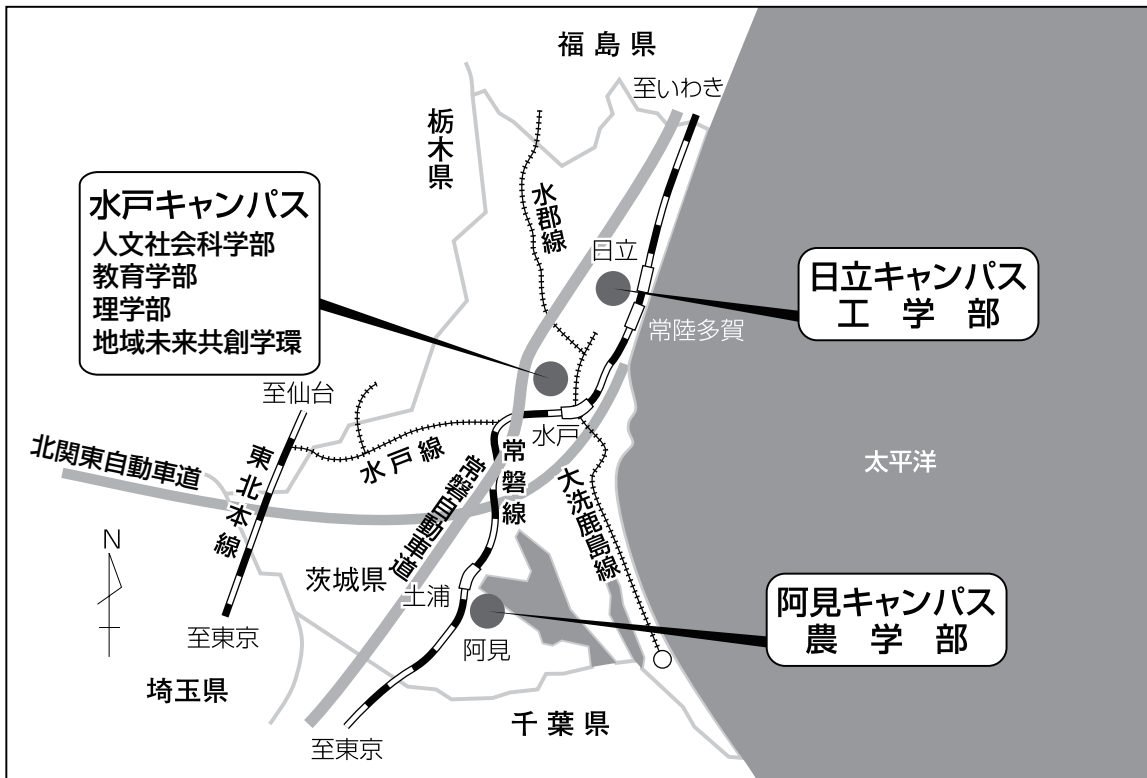
また、「個人情報の保護に関する法律」第27条第1項各号に規定された場合を除いて、本人の同意を得ることなく個人情報の第三者への提供は行いません。ただし、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、本学の受験番号、志望学部等の名称、高等学校名、氏名、性別及び生年月日、合否並びに入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

13. 不正行為・迷惑行為

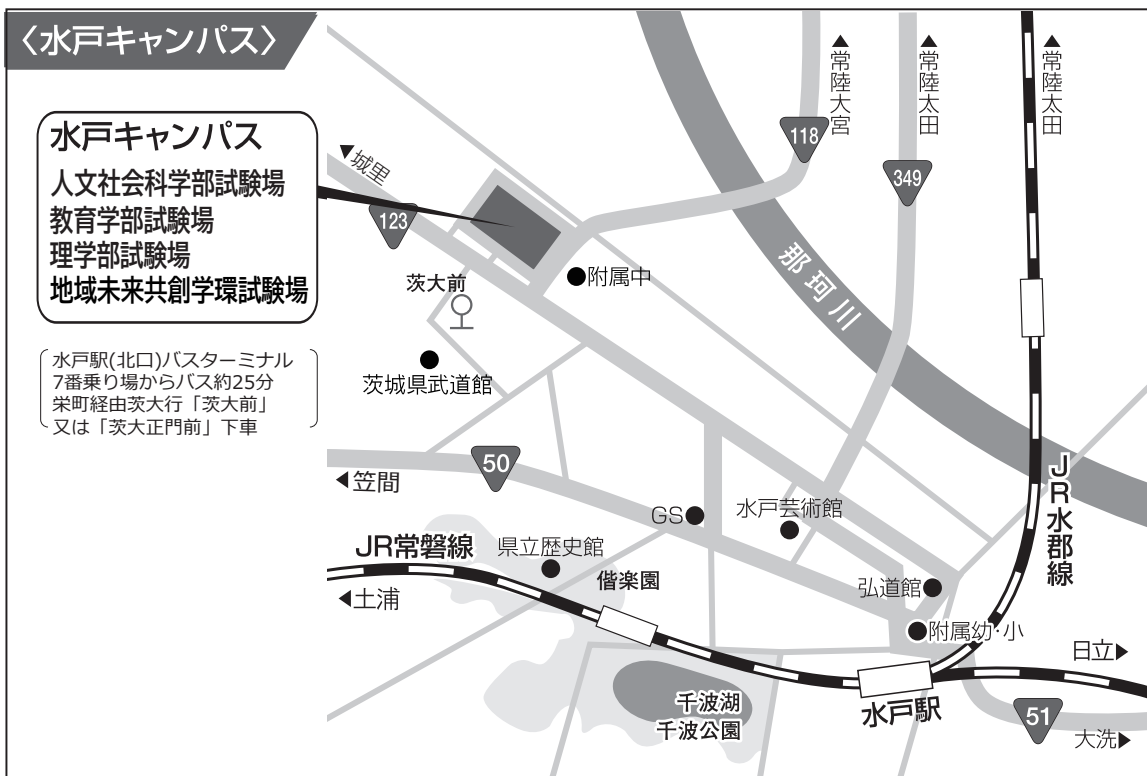
カンニングなど試験の公正・公平性を損なう行為や他の受験者への迷惑行為、試験時間中における携帯電話等の電子機器類や所定の用具以外の補助具などの所持・使用、虚偽の申出などがあった場合、あるいは試験監督員等の指示に従わない場合などは、不正行為とみなし、受験を取りやめさせ、すべての試験の成績を無効とすることがあります。また、本学が特に悪質だと判断した場合は警察に被害届を提出するなど、厳正に対処します。

◎ 試験場等案内図

(1) 本学案内図



(2) 試験場案内図





推薦書記入要領

推薦書(様式1)は、本学ホームページ内「入試情報」の「学生募集要項・入学者選抜要項」のページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/application/>】より所定様式をダウンロードし、**出身学校の担当者(担任教諭等)が、以下の事項により責任をもって作成**してください。なお、様式は学部ごとに異なりますので、出願する学部の間違えずにダウンロードしてください。

< 全学部共通の事項 >

1. 様式は、**A4判で印刷**の上、作成してください。
2. 直筆又はPCによる入力、印字により作成してください。直筆の場合は、黒インクのペン又は黒ボールペンで記入してください。様式は、PDF版とWord版を掲載しています。
3. ※印の欄は、大学で使用するため、記入しないでください。
4. 「出願学部・学科」等欄に、当該志願者が出願する学部、学科、コース名等を記入してください。
5. 人文社会科学部以外の学部は、2枚目の推薦理由について、ただ単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評的・抽象的な説明ではなく、より具体的に記入してください。
6. 推薦書(様式1)が複数枚となる場合は、上から1枚目、2枚目の順で重ね、左上をステープラー(ホッチキス)で綴じてください。
7. 推薦書(様式1)作成後、校長が**厳封**して、志願者が提出する他の出願書類に同封してください。

< 各学部の事項 >

◆人文社会科学部

【推薦書】

様式1-人(人文社会科学部用)を用いて作成してください。

上述の<全学部共通の事項>に従って記入してください。

(注)人文社会科学部では、推薦理由の作成はありません。

◆教育学部

【推薦書(1枚目)】

様式1-教(教育学部用)を用いて作成してください。

上述の<全学部共通の事項>に従って記入してください。

【推薦書(2枚目・推薦理由)】

1. 「人物」の欄

性格(特に責任感、協調性)及び意欲並びに長所・短所について具体的に記入してください。

2. 「学力」の欄

学力については、最終学年における学業成績の順位や全生徒中(あるいは在籍する科等)で、どの程度に位置しているかを記入してください。また、課程・コース・系・選修ごとに、以下の事項も詳細に記入してください。

学校教育教員養成課程

教育実践科学コース

特に優秀な成績を修めた科目又は志願者が得意とする科目等について、詳しく記入してください。

教科教育コース

言語・社会教育系 国語選修

国語の学習状況について、詳しく記入してください。

言語・社会教育系 社会選修

地理歴史科及び公民科の学習内容や関連する活動状況について、詳しく記入してください。

言語・社会教育系 英語選修

英語学習、国際交流活動、英語資格・検定試験等への取り組み状況について、詳しく記入してください。

理数教育系 数学選修

数学の学習状況について、詳しく記入してください。

理数教育系 理科選修

理科、数学の学習内容や関連する活動状況について、詳しく記入してください。

音楽教育系 音楽選修

推薦に該当する音楽活動・音楽歴の内容について、具体的に記入してください。

美術教育系 美術選修

特に優秀な成績を修めた科目又は志願者が得意とする科目等について、詳しく記入してください。
また、美術の作品発表、受賞等があれば具体的に記入してください。

保健体育教育系 保健体育選修

推薦に該当する運動特技の内容や保健体育等の学習内容について、具体的に記入してください。

技術教育系 技術選修（一般推薦）

数学、理科の成績内容やそれらの教科に関する特記すべき事項及び活動等があれば、具体的に記入してください。

技能・資格等を証明する資料等があれば、試験当日持参させてください。

技術教育系 技術選修（専門高校推薦）

専門教育に関する各教科・科目の成績内容や特記すべき事項及び活動等があれば、具体的に記入してください。

技能・資格等を証明する資料等があれば、試験当日持参させてください。

生活科学教育系 家庭選修

特に優秀な成績を修めた科目又は志願者が得意とする科目等について、詳しく記入してください。

特別支援教育コース

特に優秀な成績を修めた科目又は志願者が得意とする科目等について、詳しく記入してください。

養護教諭養成課程

特に優秀な成績を修めた科目又は志願者が得意とする科目等について、詳しく記入してください。

3. 「課外活動」の欄

ホームルーム活動、生徒会、文化活動、体育活動等（その所属したクラブ名があればその名称）の状況について、本人の役割、役職名、地位等その活動状況について学年別に具体的に記入してください。

4. 「生活態度・その他特記事項」の欄

本人の生活態度、趣味、特技等及び推薦の趣旨に合致する事項について記入してください。

学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育系 美術選修

美術に関わる活動の実績についても詳しく記入してください。

また、それらの実績をまとめた「ポートフォリオ」を志願者に作成させ、出願時に提出させてください。さらに、「付属資料1点」を出願書類とは別に出願時に提出させてください。

養護教諭養成課程

部活動、生徒会活動、その他の学校内外での文化活動、地域活動、ボランティア活動等で、どのような活動をしたのかについても、詳しく記入してください。

また、それらの実績をまとめた「活動報告・資料」を志願者に作成させ、出願時に提出させてください。

◆理学部

【推薦書（1枚目）】

様式1－理（理学部用）を用いて作成してください。

上述の＜全学部共通の事項＞に従って記入してください。

「出願要件」欄は、該当する出願要件を○で囲んでください。なお、出願要件②で推薦する場合は、その事実を証明できる書類等の写しを添付してください。（p.26参照）

【推薦書（2枚目・推薦理由）】

1. 「人物」の欄

性格（特に責任感、協調性）及び意欲並びに長所・短所について具体的に記入してください。

2. 「学力」の欄

勉学の自発性や持続性、創造力、論理的思考能力等について具体的に記入してください。

3. 「課外活動」の欄

ホームルーム活動、生徒会、文化活動、体育活動等（その所属したクラブ名があればその名称）の状況について、本人の役割、役職名、地位等その活動状況について学年別に具体的に記入してください。

4. 「生活態度・その他特記事項」の欄

本人の生活態度、趣味、特技等及び推薦の趣旨に合致する事項について記入してください。

自然科学の分野等での受賞・表彰（資料コピー添付）あるいはその他特記事項について具体的に記入してください。

◆工学部

【推薦書（1枚目）】

様式1－工（工学部用）を用いて作成してください。

上述の＜全学部共通事項＞に従って記入してください。

【推薦書（2枚目・推薦理由）】

1. 「知識・技能」の欄

学習成績の状況にもとづいて、全生徒中での位置、学力の特徴についての評価を記入してください。また、特技等があれば記入してください。

2. 「思考力・判断力・表現力」の欄

授業中および総合的な探究の時間における勉学意欲、理解力、創造的思考力、言語的表現力についての評価を記入してください。

3. 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の欄

学校の内外で意欲的に取り組んだ活動における自発性、計画性、持続性、責任感、協調性についての評価を記入してください。

◆農学部

【推薦書（1枚目）】

様式1－農（農学部用）を用いて作成してください。
上述の＜全学部共通の事項＞に従って記入してください。

【推薦書（2枚目・推薦理由）】

1. 「人物」の欄

性格（特に責任感、協調性）及び意欲並びに長所・短所について具体的に記入してください。

2. 「学力」の欄

勉学の自発性、理解力及び創造力等について具体的に記入してください。

3. 「課外活動」の欄

ホームルーム活動、生徒会、文化活動、体育活動等（その所属したクラブ名があればその名称）の状況について、本人の役割、役職名、地位等その活動状況について学年別に具体的に記入してください。

4. 「生活態度・その他特記事項」の欄

本人の生活態度、趣味、特技等及び推薦の趣旨に合致する事項について記入してください。

様式1-人

令和7年度

2025

人文社会科学部

茨城大学学校推薦型選抜
推薦書

受験番号 ※	
令和 年 月 日	
茨城大学長 殿	
学校名	学校
校長名	印
下記の者を、茨城大学学校推薦型選抜の出願にふさわしい者と認め、責任をもって推薦します。	
記	
出願学部・学科	人文社会科学部 _____ 学科
ふりがな	所属科・卒業年月
氏名	科 年 月 卒業 卒業見込
生年月日	昭和 _____ 年 月 日生 性別 男 ・ 女 平成 _____ 年 月 日生
現住所	

(注) 記入については、別紙「推薦書記入要領」を参照してください。

様式1-教

令和7年度

2025

教育学部

茨城大学学校推薦型選抜
推薦書

(2枚目)

受験番号 ※	
令和 年 月 日	
茨城大学長 殿	
学校名	学校
校長名	印
下記の者を、茨城大学学校推薦型選抜の出願にふさわしい者と認め、責任をもって推薦します。	
記	
出願学部・課程等	教育学部 _____ 課程 _____ コース _____ 系 _____ 選修
推薦種別	一般推薦 ・ 専門高校推薦 (いずれかを○で囲む)
ふりがな	所属科・卒業年月
氏名	科 年 月 卒業見込
生年月日	昭和 _____ 年 月 日生 性別 男 ・ 女 平成 _____ 年 月 日生
現住所	

(注) 記入については、別紙「推薦書記入要領」を参照してください。

(2枚目につづく)

※	
推 薦 理 由	
人 物	
学 力	
課 外 活 動	
生活態度・その他特記事項	
記入責任者名	

(1枚目)

様式1-理

理学部

令和7年度
茨城大学学校推薦型選抜
推薦書

2025

受験番号		※	
令和 年 月 日			
茨城大学長 殿			
学校名		学校	
校長名		印	
下記の者を、茨城大学学校推薦型選抜の出願にふさわしい者と認め、責任をもって推薦します。			
記			
出願学部・学科等	理学部 理学科 _____コース		
出願要件	① ・ ② (いずれかを○で囲む)		
ふりがな			卒業年月
氏名			年 月 卒業見込
生年月日	昭和 年 月 日生	性別	男 ・ 女
現住所			

(注) 記入については、別紙「推薦書記入要領」を参照してください。(2枚目につく)

(2枚目)

※	
推 薦 理 由	
人 物	
学 力	
課 外 活 動	
生活態度・その他特記事項	
記入責任者名	

(1枚目)

様式1-工

工学部

令和7年度
茨城大学学校推薦型選抜
推薦書

2025

受験番号		※	
令和 年 月 日			
茨城大学長 殿			
学校名		学校	
校長名		印	
下記の者を、茨城大学学校推薦型選抜の出願にふさわしい者と認め、責任をもって推薦します。			
記			
出願学部・学科等	工学部 _____学科		
推薦種別	出願区分		出願するいずれかに○を記入
	一般推薦 (※)	一般枠	
		女子枠(併願)	
		女子枠(単願)	
専門高校推薦			
(※) 学校推薦型選抜学生募集要項p.28～29を参照して記入してください。			
ふりがな			所属科・卒業年月
氏名			科 年 月 卒業見込
生年月日	昭和 年 月 日生	性別	男 ・ 女
現住所			

(注) 記入については、別紙「推薦書記入要領」を参照してください。(2枚目につく)

(2枚目)

※	
推 薦 理 由	
知識・技能	
思考力・判断力・表現力	
主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
記入責任者名	

見本

実際に使う用紙は本学ホームページからダウンロードして、A4サイズで印刷してください。

(1枚目)

様式1-農

農学部

令和7年度 茨城大学学校推薦型選抜 推薦書

2025

受験番号 ※

令和 年 月 日

茨城大学長 殿

学校名 学校

校長名 印

下記の者を、茨城大学学校推薦型選抜の出願にふさわしい者と認め、責任をもって推薦します。

記

出願学部・学科等	<input type="checkbox"/> 農学部 <input type="checkbox"/> 食生命科学科 <input type="checkbox"/> 地域総合農学科 _____ コース
推薦種別	<input type="checkbox"/> 一般推薦 ・ <input type="checkbox"/> 専門高校推薦 <small>(いずれかを○で囲む)</small>

ふりがな	所属科・卒業年月	
氏名	卒業科	卒業年月
生年月日	昭和 年 月 日生	性別 男 ・ 女
現住所	平成 年 月 日	

(注) 記入については、別紙「推薦書記入要領」を参照してください。(2枚目につづく)

(2枚目)

※

推薦理由

人物	
学力	
課外活動	
生活態度・その他特記事項	

記入責任者名

志 願 理 由 書 記 入 要 領

志願理由書(様式2)は、本学ホームページ内「入試情報」の「学生募集要項・入学者選抜要項」のページ【<https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/application/>】より所定様式をダウンロードし、**志願者が、以下の事項により作成して、出願時に提出**してください。なお、様式は学部ごとに異なりますので、自身が出願する学部のもを間違えずにダウンロードしてください。

< 全学部共通の事項 >

1. 様式は、**A4判で印刷**の上、作成してください。
2. 志願者本人が直筆で、黒インクのペン又は黒ボールペンを使用して記入してください。(コピーによる提出又はPCの使用等は不可とします。)
3. 志願する学科・コース等、氏名及びふりがなを記入し、該当する性別を○で囲んでください。
4. ※印の欄は、大学で使用するため、記入しないでください。

< 各学部の事項 >

◆人文社会科学部

様式2-人(人文社会科学部用)を用いて以下の(1)、(2)より作成してください。

様式の1枚目を使用して(1)を、2枚目を使用して(2)を、それぞれ600字以内で記入してください。記入後、上から1枚目、2枚目の順で重ね、左上をステープラー(ホッチキス)で綴じて提出してください。

(1) 志願した学科の教育研究分野に即して、以下の①～③を含めた志願理由を述べてください。

- ①高等学校等で興味・関心を持って学んできたこと
- ②大学で特に学びたいこと
- ③①及び②を踏まえた将来の目標や卒業後の進路希望

(2) (1)の内容のほかに、高等学校等での授業外の活動経験について、以下の事項で該当するものを説明してください。

生徒会役員等としての活動、部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等、取得資格・検定等、表彰・顕彰等、その他

◆教育学部

様式2-教(教育学部用)を用いて作成してください。

以下の各課程、コース等ごとの記入要領に従って、2枚目まで使用して1,300字以内で記入してください。記入後、上から1枚目、2枚目の順で重ね、左上をステープラー(ホッチキス)で綴じて提出してください。

学校教育教員養成課程

- (1) この課程、コース・系・選修を志望した理由を具体的に記入してください。
- (2) 大学で学びたいことを具体的に記入してください。
- (3) 卒業後どのような教員になりたいか記入してください。
- (4) 教科教育コースの以下の系・選修については、次の事項についても記入してください。

言語・社会教育系 国語選修

言葉や文学など「国語」に関することで、興味を持って進んで学習の範囲を広げたり、内容を深めたりしてきたことがあれば、具体的に記入してください。

言語・社会教育系 英語選修

英語学習、英米文化、国際交流活動等に関することで興味を持って取り組んできたことがあれば記入してください。

理数教育系 理科選修

これまでに、自分が熱中して取り組んできた自然科学に関連する活動や研究について、どれくらいの期間、どのように取り組んできたかを具体的に記入してください。

音楽教育系 音楽選修

音楽とのかかわりについて、今までどのように取り組んできたかを具体的に記入してください。

美術教育系 美術選修

現在まで、どのような美術の分野（絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史、美術教育、その他）に関心を持ち、どのように取り組んできたかを具体的に記入してください。

保健体育教育系 保健体育選修

「保健体育」に関する事で、これまで特に打ち込んできたこと及びこれから特に追求したいことについて、将来の目標との関連から具体的に記入してください。

養護教諭養成課程

- (1) この課程を志望した理由を具体的に記入してください。
- (2) 大学で学びたいことを具体的に記入してください。
- (3) 卒業後どのような養護教諭になりたいか記入してください。

◆理学部

様式2－理（理学部用）を用いて作成してください。

600字以内で、志願コースを志望した理由を具体的に記入してください。

◆工学部

様式2－工（工学部用）を用いて作成してください。

志願学科を志望するに至った経緯、入学後の学修計画、卒業後の目標を600字以内で具体的に記入してください。

都市システム工学科の学校推薦型選抜では、社会基盤デザインプログラムでの勉学を強く志望する人材を受け入れることを目的としています。志願者は下記の【都市システム工学科の教育方針】と【社会基盤デザインプログラムの特徴】に注意してください。都市システム工学科の建築デザインプログラムでの勉学を志望する者は、総合型選抜又は一般選抜で都市システム工学科に出願してください。

【都市システム工学科の教育方針】

都市システム工学科では「安全の創造」に向けて、地震に対する防災、地盤を含めた強くてしなやかな構造物の設計・技術を学びます。「環境の創造」では、地球温暖化に対処した自然と共生できる環境を創造するための学問を学びます。さらに、「快適の創造」では、美しい景観を保った外部空間や造形美や機能美を備えた空間の設計、都市計画の理論と実際について学びます。

【社会基盤デザインプログラムの特徴】

高速道路、鉄道や橋梁などの設計や施工、交通や都市の計画づくりや施設の運用、河川や海岸の防災や自然環境保全など、幅広い土木工学の分野とそれに関連する分野の知識をも履修するカリキュラムにより、地域の防災・減災やまちづくりの分野で活躍できる専門技術を学びます。

◆農学部

様式2－農（農学部用）を用いて作成してください。

600字以内で、志願学科を志望した理由を具体的に記入してください。

「運動特技に関する調書」記入要領

< 教育学部 保健体育選修 >

教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース保健体育教育系保健体育選修の志願者が提出する運動特技に関する調書(様式3)は、以下の要領に従って、志願者の出身学校の担当者(保健体育主任又は担当顧問教員等の指導的な立場にある者)が志願者本人の運動特技について、責任をもって記入してください。

様式3は、本学ホームページ内「入試情報」の「学生募集要項・入学者選抜要項」のページからダウンロードしたものを用いて作成してください。(PDF版とWord版を掲載しています)

1. 「特技とする運動種目」の欄は、一種目とします。以下の(例)に倣い具体的に記入してください。
(例)陸上競技(走幅跳)、水泳(自由形・短距離)、バレーボール(セッター)、サッカー(FW)、剣道(二段)等
2. 「特技とする運動種目の成績・記録」の欄は、高等学校等在学中に出場した全国大会又はそれに準ずる成績((注)1)について、最も良い成績から順に三つ以内を記入してください。舞踊など記録で表しにくい種目は、発表会や受賞名等を具体的に記入してください。
また、全国、ブロック、県レベルでの代表選手に選ばれた者、優秀選手の表彰を受けた者、さらに、資格(段位等)を有する者は、備考欄にその旨を記入してください。
ここでの運動特技は志願者本人のプレーヤーとしての競技実績((注)2)を指し、マネージャーやアシスタントコーチといったサポートスタッフ等としての貢献は運動特技に含みません。
特技とする運動種目の成績・記録を証明できる資料の写し(コピー;(注)3)を出願書類と併せて必ず提出してください。資料の枚数に制限はありませんが、A4判の大きさに調整する、ステープラー(ホッチキス)で留める等、整理した上で提出してください。なお、提出した資料は一切返却しません。

(注)1 『全国大会』とは、インターハイや国体等、各競技団体等主催の全国大会を指しますが、全国規模での選抜チームとしての試合出場も対象とします。また、『準ずる成績』とは、ブロック大会(関東大会、東北大会など)やブロック又は県選抜チームとしての出場成績も含みます。

なお、令和7年度入学者選抜では、新型コロナウイルス感染症の発生により中止・延期等となった大会等に参加できなかった場合においても、競技活動に対する努力のプロセス等から、上記の出場成績等を有する者に相当すると校長が判断できる者については、出願要件を満たすものとします。

(注)2 団体競技などチームで行う活動の場合は、チームの競技実績に加え、チーム内における志願者本人の役割・実績等を備考欄に具体的に記入してください。

(注)3 「特技とする運動種目の成績・記録」の欄に記入した**全ての成績・記録**（備考欄に記載した**選抜選手や、表彰、受賞、資格（段位等）等を含む。**）について、次の資料の写し（コピー）を提出してください。

①大会プログラム

大会名、主催者及び開催年月日など大会の概要がわかるもの

②個人やチーム等が大会等に出場したことを証明する資料

志願者本人の氏名が記載されたスコアシート（公式記録用紙）又は雑誌・新聞・インターネットの記事・賞状など。チーム等の場合は、志願者本人が出演していることや役割等が分かる資料も追加してください。

※1 上記①、②の資料の写しを両方提出してください。資料が片方しかない場合は、その旨を提出する資料の余白に記入してください。

※2 上記の資料を提出する際は、その表紙、発行者、発行年月日及び当該記録に関するページを複写の上、提出してください。また、資料の余白には、「競技会・発表会名」の番号と一致する番号を記入してください。

※3 上記の資料が入手困難な場合は、別紙（任意様式）に、保健体育主任又は担当顧問教員等の指導的な立場にある者が、記載された成績等について、その試合等における活躍内容、得点経過及びその試合等における役割などをできるだけ詳細かつ客観的に記入してください。

（別紙で提出する場合は、必ず志願者名、記入者名、志願者との関係を記入・押印してください）

※4 選抜選手や、表彰、受賞、資格（段位等）等も上記①、②のような客観的証明資料（賞状・認定証等）の写しを添付してください。

※5 新型コロナウイルス感染症の発生により中止・延期等となった大会等に参加できなかった場合において、「全国大会に出場又はそれに準ずる出場成績を有する者に相当する」と校長が判断し、出願させる者については、担当顧問教員等が高等学校等在学中に得た競技成績とともに、その理由を記載した「理由書（任意様式）」を作成し、担当顧問教員等及び校長が押印の上、提出してください。

3. 記入者名の下に〔志願者との関係〕については、具体的に記入してください。

（例）保健体育主任、〇〇部顧問（部長）、クラス担任など。

4. 作成後、校長が厳封して、志願者が提出する他の出願書類に同封してください。なお、特技とする運動種目の成績・記録を証明できる資料の写しは厳封しなくても構いません。

「調査・研究活動に関する報告書」作成・提出要領

< 教育学部 社会選修 >

教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース言語・社会教育系社会選修の志願者は、「調査・研究活動に関する報告書」を以下の要領で作成し、出願時に提出してください。

① 調査・研究活動に関する報告書とは

「調査・研究活動に関する報告書」とは、志願者による社会科あるいは地理歴史科及び公民科の内容に関わる調査や研究等の活動をまとめたものです。**A4サイズ3ページ以内**に自由な形式でまとめてください。文章が中心となる場合には1ページ1,000字程度を基準としてください。

なお、表紙、目次の作成は任意ですが、作成した場合は、ページ数に含みます。

※上記「調査・研究活動」とは、志願者の高等学校等在学時における高等学校等内外（授業等を含む）での諸活動を指します。社会的事象に関連する調査・研究活動であれば、志願者個人で自主的に取り組んだ活動のほか、授業や夏休みの課題で取り組んだ活動でも構いません。ただし、グループや組織による活動の場合は、志願者個人が果たした役割・成果等を具体的に記入してください。

② 提出方法

提出にあたっては、「**確認票（様式4-社会）**」、作成した「調査・研究活動に関する報告書」の順にステープラー（ホッチキス）で左上を綴じ、他の出願書類と共に提出してください。

③ その他

「調査・研究活動に関する報告書」は返却しません。

「活動報告・資料」作成・提出要領

< 教育学部 特別支援教育コース >

教育学部学校教育教員養成課程特別支援教育コースの志願者は、「活動報告・資料」を以下の要領で作成し、出願時に提出してください。

① 活動報告・資料とは

「活動報告・資料」とは、志願者の高等学校等在学時の活動をまとめたファイルのことです。資料（原本が提出不可能な場合はコピーでも可）を含めて、**A4サイズ8ページ以内**に自由な形式でまとめてください。文章が中心となる場合には1ページ1,000字程度を基準としてください。

なお、表紙、目次の作成は任意ですが、作成した場合は、ページ数に含みます。

※上記「活動報告・資料」の内容は、障害児・者に関わる具体的な活動・経験あるいは調査・研究などであり、特定の社会的評価や資格等の有無は問いません。ただし、グループや組織で行った活動・経験あるいは調査・研究については、志願者個人が果たした役割・実績等を具体的に記入してください。

② 提出方法

提出にあたっては、「**確認票（様式4-特支）**」、作成した「活動報告・資料」の順にステープラー（ホッチキス）で左上を綴じ、他の出願書類と共に提出してください。

③ その他

「活動報告・資料」は返却しません。

試験当日は「活動報告・資料」のコピー及び「その他の資料」を持参し、使用しても構いません。ただし、電子機器類の使用は認めません。なお、「その他の資料」について、ポスターなどを掲示する場合には2、3メートル離れた位置にいる面接員に見えるように配慮してください。また、面接員への配付物がある場合には5部用意してください。

< 教育学部 養護教諭養成課程 >

教育学部養護教諭養成課程の志願者は、「活動報告・資料」を以下の要領で作成し、出願時に提出してください。

① 活動報告・資料とは

「活動報告・資料」とは、志願者の高等学校等内または学校外での活動をまとめたファイルのことです。資料（原本が提出不可能な重要な資料についてはコピーも可）を含めて、**A4サイズ3ページ以内**に自由な形式でまとめてください。文章が中心となる場合には1ページ1,000字程度を基準としてください。

なお、表紙、目次の作成は任意ですが、作成した場合は、ページ数に含みます。

※上記「活動報告・資料」の内容は、部活動、生徒会活動、その他の学校内外での文化活動、地域活動、ボランティア活動、製作・発表活動等の実績であり、特定の社会的評価や資格等の有無は問いません。ただし、グループや組織による活動の場合は、志願者個人が果たした役割・実績等を具体的に記入してください。

② 提出方法

提出にあたっては、「**確認票（様式4-養教）**」、作成した「活動報告・資料」の順にステープラー（ホッチキス）で左上を綴じ、他の出願書類と共に提出してください。

③ その他

「活動報告・資料」は返却しません。

「ポートフォリオ、付属資料1点」作成・提出要領

< 教育学部 美術選修 >

教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース美術教育系美術選修の志願者は、「ポートフォリオ」及び「付属資料1点」を以下の要領で作成し、出願時に提出してください。

1. ポートフォリオ

① ポートフォリオとは

「ポートフォリオ」とは、志願者が高等学校等内又は学校外での学習・美術に関わる活動を自ら構成したファイルのことです。これまで自分が取り組んできた学習・美術に関わる活動内容や成果物（作品等）の紹介、それを大学でどのように深め広げて大学の学習・研究活動に活かしていきたいか等を、**A4サイズ10ページ以内**に自由な形式で分かりやすくまとめ構成してください。

ただし、文章が中心になる場合には、1ページ1,000字程度を基準とします。

なお、表紙、目次の作成は任意ですが、作成した場合は、ページ数に含みます。

※上記「学習・美術に関わる活動内容」とは、主に高校生活、又はその周辺での学習活動（生徒会、部活動、美術教育支援、造形活動支援、ボランティア等）や表現活動（美術、芸術、映像、企画運営、作品発表等）であり、特定の社会的評価や資格等の有無は問いません。

② 提出方法

提出にあたっては、本学所定の「**確認票（様式4-美術）**」をブックタイプのクリアファイルの1枚目に入れ、作成した「ポートフォリオ」を2枚目以降に入れて、他の出願書類と共に提出してください。なお、ファイルの大きさ等の都合で角形2号封筒に入らない場合は、より大きな封筒に他の出願書類と共に同封し、表面に宛名シートを貼付して提出してください。

③ その他

「ポートフォリオ」は、返却しません。

2. 付属資料1点

① 付属資料1点とは

「付属資料1点」とは、上記「ポートフォリオ」に記載されている活動内容の中で、志願者のこれまでの活動を代表する作品等の資料のことです。「付属資料1点」については、次のいずれかにより提出してください。

◇作品等の場合

- ・平面、立体を問わず、大きさの制限はありません。ただし、梱包して送付、移動が可能なものに限ります。
- ・梱包して送付、移動が困難な作品の場合（梱包後、3辺合計260cm又は重さ25kgを超えるもの）は、四つ切り（25.4cm×30.5cm）以内の写真で提出してください。立体作品の場合は、多方向からの撮影により写真が複数枚になっても結構です。
- ・送付、移動の際に破損の恐れのある作品の場合は、大きさを問わず写真で提出してください。
- ・安全管理及び保健衛生上支障のある作品の場合は、大きさを問わず写真で提出してください。
- ・写真の提出により不利になることはありません。

◇映像・音声資料の場合

CD-R、DVD-R、USBメモリ等の媒体に記録され、再生時間5分以内のもの。

データファイルとして提出する場合は、できる限り以下のデータ形式で記録してください。

- ・静止画の場合 jpegフォーマット
- ・動画の場合 MPEG4形式
- ・音声の場合 WAV又はAIFF形式

選択した記録媒体及びデータ形式が、市販の再生機器で正常に再生できることを、提出前に確認してください。

※データファイルで提出の場合は、再生環境等について大学から志願者へ問い合わせることがあります。

◇文章主体の資料の場合

- ・企画運営報告書等で冊子としてまとまっている場合は1冊提出してください。
- ・書き下ろしの場合はレポート用紙に8,000字以内で提出してください。

② 提出方法

「付属資料1点」は、**出願書類とは別に送付**してください。その際、梱包等の見えやすい位置に『教育学部<美術選修>付属資料1点』及び『氏名』を朱書きしてください。

なお、提出期間及び提出先は、学校推薦型選拔出願書類と同様です。

③ その他

「付属資料1点」は、面接後に返却します。

「プレゼンテーション資料」作成・提出要領

< 教育学部 教育実践科学コース >

教育学部学校教育教員養成課程教育実践科学コースの志願者は、「プレゼンテーション資料」を本学所定の様式（様式5-実践）を用いて、以下の要領で作成し、出願時に提出してください。

様式5-実践は、本学ホームページ内「入試情報」の「学生募集要項・入学者選抜要項」のページからダウンロードしたものをA4判で印刷の上、作成してください。

① 作成方法

- ア) 「プレゼンテーション資料」には、氏名、出身学校及び〈プレゼンテーションの要旨〉を記入してください。
- イ) 今回のプレゼンテーションの題目は「部活動の地域移行について」です。志願者は、今回の題目に関するプレゼンテーションについて、〈プレゼンテーションの要旨〉欄に直筆で記入してください。
- ウ) 「プレゼンテーション資料」はコピーしておき、試験当日に持参してください。受験時には、この「プレゼンテーション資料」のコピーのみを用いてプレゼンテーションを行ってください。なお、このコピーにメモ書きをしても問題ありません。

② 提出方法

提出にあたっては、「確認票（様式4-実践）」、「プレゼンテーション資料（様式5-実践）」の順にステープラー（ホッチキス）で左上を綴じ、他の出願書類と共に提出してください。

③ その他

「プレゼンテーション資料」は返却しません。

< 教育学部 家庭選修 >

教育学部学校教育教員養成課程教科教育コース生活科学教育系家庭選修の志願者は、「プレゼンテーション資料」を以下の要領で作成し、出願時に提出してください。

家庭選修のプレゼンテーション資料は、本学所定の用紙はありません。本学ホームページに掲載されている教育実践科学コースのプレゼンテーション資料（様式5-実践）は使用できませんので注意してください。

① 作成方法

- ア) テーマは「生活にかかわる問題」についてです。「生活にかかわる問題」とは、現代社会における衣食住、家庭・子ども、高齢者・福祉、消費生活・環境などをめぐり生じている生活問題を指します。「生活にかかわる問題」から1つを取り上げ、志願者の視点から課題を設定し、その問題状況について説明するための「プレゼンテーション資料」を作成してください。「プレゼンテーション資料」は必ず図表などを用いて作成し、内容に応じたタイトルを付けてください。
- イ) 「プレゼンテーション資料」は、表紙を含めて、**A4サイズ5ページ以内**で作成してください。表紙には、テーマ、タイトル、氏名及び学校名を記載してください。
- ウ) 「プレゼンテーション資料」はコピーをしておき、試験当日に持参してください。受験時には、この「プレゼンテーション資料」のコピーのみを用いてプレゼンテーションを行ってください。なお、このコピーにメモ書きをしても問題ありません。

② 提出方法

提出にあたっては、「確認票（様式4-家庭）」、作成した「プレゼンテーション資料」の順にステープラー（ホッチキス）で左上を綴じ、他の出願書類と共に提出してください。

③ その他

「プレゼンテーション資料」は返却しません。

※「運動特技に関する調書」、「調査・研究活動に関する報告書」、「活動報告・資料」、「ポートフォリオ、付属資料1点」及び「プレゼンテーション資料」に関する質問は、茨城大学教育学部入学試験係（電話 029-228-8203）に問い合わせてください。

令和7年度
茨城大学学校推薦型選抜
運動特技に関する調査

2025

教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース
保健体育教育系 保健体育選修

※印の欄は、記入しないでください。

※	※	※	受験番号	※
ふりがな		性別	公立 ・ 私立	
志願者氏名		男・女	出身学校名 学校	
生年月日	昭和 平成	年 月 日生	令和	年 月 卒業見込
特技とする運動種目				
特技とする運動種目の成績・記録				
競技会・発表会名		年度	主催者 (開催地)	競技・発表の成績・記録
1			()	
2			()	
3			()	
〔備考〕 (全国、ブロック、県レベルでの代表選手に選ばれた者、優秀選手の表彰を受けた者、さらに、資格(役位等)を有する者は、その旨を記入。)				
記入者氏名 〔志願者との関係〕				
上記記載事項並びに添付の証明資料等については、事実及び原本に相違ないことを証明する。				
令和 年 月 日 学校名 校長名				

(注) 記入については、別紙「『運動特技に関する調査』(様式3)記入要領」を参照してください。

2025

令和7年度茨城大学学校推薦型選抜
「調査・研究活動に関する報告書」確認票
＜教育学部 社会選修＞

この確認票は、「調査・研究活動に関する報告書」が、志願者本人が作成したものであることを証明するための用紙です。出身学校に校長の記名、押印をもらい、「調査・研究活動に関する報告書」の上に重ねて、左上をステープラー(ホッチキス)で綴って提出してください。

受験番号	※
------	---

志願課程 ・コース等	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 社会選修	提出物	調査・研究活動に関する 報告書
ふりがな		出身 学校 名	学校
志願者氏名			
調査・ 研究活動 の概要	<input type="checkbox"/> 志願者個人で自主的に取り組んだ活動 <input type="checkbox"/> 授業で取り組んだ活動 <input type="checkbox"/> 授業以外で取り組んだ活動(夏休みの課題等学校に関わるもの) <input type="checkbox"/> その他 ()		
活動者	志願者個人 ・ グループや組織 (いずれかを○で囲む)		
出身学校 確認欄	「調査・研究活動に関する報告書」は、本人が作成したものであることを確認しました。 令和 年 月 日 学校名 校長名		

【備考】

- ※印の欄は記入しないでください。
- 「出身学校確認欄」は、出身学校が必ず記入・押印をしてください。
- この用紙は、制限ページ数には含まれません。

2025

令和7年度茨城大学学校推薦型選抜
「活動報告・資料」確認票
＜教育学部 特別支援教育コース＞

この確認票は、「活動報告・資料」が、志願者本人が作成したものであることを証明するための用紙です。出身学校に校長の記名、押印をもらい、「活動報告・資料」の上に重ねて、左上をステープラー(ホッチキス)で綴って、提出してください。

受験番号	※
------	---

志願課程 ・コース等	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース	提出物	活動報告・資料
ふりがな		出身 学校 名	学校
志願者氏名			
出身学校 確認欄	「活動報告・資料」は、本人が作成したものであることを確認しました。 令和 年 月 日 学校名 校長名		

【備考】

- ※印の欄は記入しないでください。
- 「出身学校確認欄」は、出身学校が必ず記入・押印をしてください。
- この用紙は、制限ページ数には含まれません。

2025

令和7年度茨城大学学校推薦型選抜
「活動報告・資料」確認票
＜教育学部 養護教諭養成課程＞

この確認票は、「活動報告・資料」が、志願者本人が作成したものであることを証明するための用紙です。出身学校に校長の記名、押印をもらい、「活動報告・資料」の上に重ねて、左上をステープラー(ホッチキス)で綴って、提出してください。

受験番号	※
------	---

志願課程 ・コース等	教育学部 養護教諭養成課程	提出物	活動報告・資料
ふりがな		出身 学校 名	学校
志願者氏名			
出身学校 確認欄	「活動報告・資料」は、本人が作成したものであることを確認しました。 令和 年 月 日 学校名 校長名		

【備考】

- ※印の欄は記入しないでください。
- 「出身学校確認欄」は、出身学校が必ず記入・押印をしてください。
- この用紙は、制限ページ数には含まれません。

令和7年度茨城大学学校推薦型選抜
「ポートフォリオ、付属資料1点」確認票
＜教育学部 美術選修＞

この確認票は、「ポートフォリオ」及び「付属資料1点」が、志願者本人が作成したものであることを証明するための用紙です。出身学校に校長の記名、押印をしてもらい、「ポートフォリオ」を入れたブックタイプのクリアファイルの1枚目に入れて、提出してください。

		受験番号 ※	
志願課程・コース等	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 美術教育系 美術選修	提出物	・ポートフォリオ ・付属資料1点
ふりがな		出身学校名	学校
志願者氏名			
付属資料1点の題名等	作品名等を記入してください。		
付属資料1点の形態	<input type="checkbox"/> 作品等 <input type="checkbox"/> 映像・音声資料 (以下の該当するものを○で囲ってください。) (記録媒体: CD-R・DVD-R・USBメモリ) (データ形式: jpeg・MPEG4・WAV・AIFF) その他のデータ形式: _____ (□市販再生機で再生できることを確認しました。) <input type="checkbox"/> 文章主体の資料、その他		
出身学校確認欄	「ポートフォリオ、付属資料1点」は、本人が作成したものであることを確認しました。 令和 年 月 日 学校名 校長名 印		

【備考】

- ※印の欄は記入しないでください。
- 「出身学校確認欄」は、出身学校が必ず記入・押印をしてください。
- この用紙は、制限ページ数には含まれません。

令和7年度茨城大学学校推薦型選抜
「プレゼンテーション資料」確認票
＜教育学部 教育実践科学コース＞

この確認票は、「プレゼンテーション資料」が、志願者本人が作成したものであることを証明するための用紙です。出身学校に校長の記名、押印をしてもらい、「プレゼンテーション資料(様式5-実践)」の上に重ねて、左上をステープラー(ホッチキス)で綴って提出してください。

		受験番号 ※	
志願課程・コース等	教育学部 学校教育教員養成課程 教育実践科学コース	提出物	プレゼンテーション資料 (様式5-実践)
ふりがな		出身学校名	学校
志願者氏名			
出身学校確認欄	「プレゼンテーション資料」は、本人が作成したものであることを確認しました。 令和 年 月 日 学校名 校長名 印		

【備考】

- ※印の欄は記入しないでください。
- 「出身学校確認欄」は、出身学校が必ず記入・押印をしてください。

令和7年度茨城大学学校推薦型選抜
プレゼンテーション資料

教育学部 学校教育教員養成課程 教育実践科学コース		受験番号 ※	
ふりがな		出身学校名	学校
氏名			
<プレゼンテーションの要旨>			

- ※印の欄は記入しないでください。
- 別紙「『プレゼンテーション資料』作成・提出要領」に従い作成してください。

令和7年度茨城大学学校推薦型選抜
「プレゼンテーション資料」確認票
＜教育学部 家庭選修＞

この確認票は、「プレゼンテーション資料」が、志願者本人が作成したものであることを証明するための用紙です。出身学校に校長の記名、押印をしてもらい、「プレゼンテーション資料」の上に重ねて、左上をステープラー(ホッチキス)で綴って提出してください。

		受験番号 ※	
志願課程・コース等	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 生活科学教育系 家庭選修	提出物	プレゼンテーション資料
ふりがな		出身学校名	学校
志願者氏名			
出身学校確認欄	「プレゼンテーション資料」は、本人が作成したものであることを確認しました。 令和 年 月 日 学校名 校長名 印		

【備考】

- ※印の欄は記入しないでください。
- 「出身学校確認欄」は、出身学校が必ず記入・押印をしてください。
- この用紙は、制限ページ数には含まれません。

面接(女子枠用)の「課題作文」作成・提出要領

工学部(女子枠)の志願者は、本学所定の様式「課題作文(様式6-工・女子枠)」を以下の要領で作成し、出願時に他の出願書類と共に提出してください。「課題作文(様式6-工・女子枠)」は、本学ホームページ内「入試情報」の「学生募集要項・入学者選抜要項」のページからダウンロードしたものを印刷して作成してください。

なお、志願理由書とは様式が異なりますので、間違えずにダウンロードしてください。

1. 様式は、**A4判**で印刷の上、作成してください。
2. 直筆で記入する場合は、黒インクのペン又は黒ボールペンを使用してください。
PCにより作成する場合は10.5ポイント以上の文字(11ポイント、游ゴシック推奨)で作成してください。半角文字は使用しないでください。枠線と文字がずれる場合は、直筆で作成してください。
3. 志願する学科名にチェックを入れ、氏名及びふりがなを記入してください。
4. ※印欄は、記入しないでください。
5. 身の回りの製品やシステムについて、あなたから見て、こうであれば誰にでも使いやすいユニバーサルな製品・システムになるだろうという提案を**300字以内**で記入してください。
6. 作成した原本を提出してください。またコピーを試験当日に持参してください。なお、このコピーにメモ書きをしても問題ありません。
7. 面接(女子枠用)の「課題作文」は返却しません。

※「面接(女子枠用)の課題作文」に関する質問は、茨城大学工学部入学試験係(電話 0294-38-5223)に問い合わせてください。

～ 注 意 ～

[合格電報・アパート等の勧誘について]

試験当日に、本学周辺又は最寄り駅等において、本学職員を装い、合格電報やアパートの斡旋等の勧誘と称して個人情報を記入させ、受験者からの金銭の収受を行っている業者等が見受けられます。これらの業者等は本学とは一切無関係であり、事故・トラブル等が生じても本学は責任を負いませんので、十分に気をつけてください。

なお、合格者の受験番号は合格者発表日に本学ホームページに掲載され、どなたでも閲覧することができますので、本学が合格電報等を斡旋することは絶対にありません。

また、本学が試験当日に受験者に対し金銭の収受を行うことは絶対にありません。

[乗用車等による来学について]

試験当日に、乗用車等により来学されても、構内へは駐車できません。

近隣の路上、店舗、私有地への違法駐車は、交通渋滞等の原因となり、人身事故等が発生するなど、近隣の方々にご迷惑をおかけしますので、来学の際は、公共交通機関を利用してください。

入学者選抜に関する問い合わせ先

※問い合わせは、志願者本人が行ってください。

受付時間：9時00分～17時00分（12時00分～13時00分、土・日曜日及び祝日を除く）

○茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

その他の問い合わせ先

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ○障害等のある入学志願者の事前相談について | 電話 029-228-8055 |
| ○入学手続について | 電話 029-228-8414 |
| ○入学料及び授業料の納入について | 電話 029-228-8561 |
| ○学費の免除・徴収猶予について | 電話 029-228-8067 |
| ○奨学金について | 電話 029-228-8059 |
| ○学生寮について | 電話 029-228-8060 |
| ○教育学部実技検査等について | 電話 029-228-8203 |
| ○工学部（日立キャンパス） | 電話 0294-38-5223 |
| ○農学部（阿見キャンパス） | 電話 029-888-8519 |

茨城大学ホームページ

【QRコード】

<https://www.ibaraki.ac.jp/>

パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。



茨城大学携帯電話サイト

<https://daigakujc.jp/ibaraki/>

パソコン・携帯電話・スマートフォンからご覧いただけます。

両サイトとも、資料請求方法・出願状況速報等の各種選抜情報が閲覧できます。

不測の事態が発生した場合の対応について

災害や感染症のまん延等の不測の事態が発生した場合は、出願期間や選抜日程、実施方法等に変更が生じることがあります。その際は、上記の本学ホームページによりお知らせしますので、出願・受験前には必ず確認してください。